

豊中市埋蔵文化財発掘調査概要

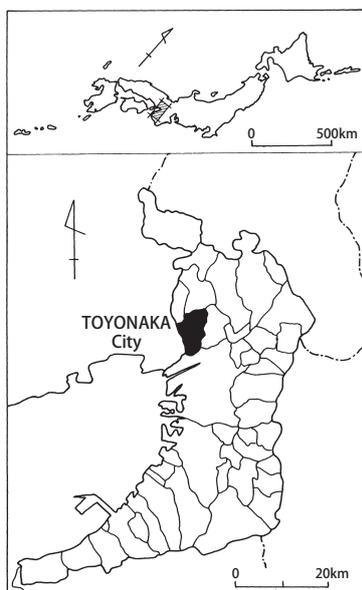
令和6年度(2024年度)

令和7年(2025年)3月

豊中市教育委員会

豊中市埋蔵文化財発掘調査概要

令和6年度（2024年度）



令和7年（2025年）3月

豊中市教育委員会

序 文

豊中市は、大阪府の北西部に位置し、西は兵庫県と接しています。千里丘陵にかつて広大な森林を控えたこの地は、神崎川や猪名川から常に豊かな水がもたらされ、古くから人々の生活の場が育まれてきた結果、多くの歴史的遺産が受け継がれてきました。その一方、商都大阪に隣接する関係により、早くから大阪近郊のベッドタウンとしての開発が進められてきた結果、すみやかに埋蔵文化財の保護に取り組む必要がありました。近年になって開発の勢いは落ち着いてきたものの、依然として小規模開発が行われており、住宅の老朽化に伴う建て替えも依然として多く、埋蔵文化財の保護について迅速な対応が求められています。

本書は郷土の文化財としての埋蔵文化財の重要性を踏まえ、国の補助を受けて実施した緊急発掘調査の概要報告です。今回は、令和5年度（2023年度）に調査を実施した本町遺跡、ならびに令和6年度（2024年度）の各遺跡における確認調査に加え、令和5年度（2023年度）後期に実施した各遺跡における確認調査も掲載いたしました。

永きにわたって受け継がれてきた貴重な歴史的遺産は、わたしたち現代に暮らす人間にとっても大切な知識をもたらしてくれます。本書が、郷土豊中の豊かな未来形成のために役立つことを願ってやみません。

調査の実施にあたっては、土地所有者、施工関係者、近隣の住民の皆様、深いご理解と多大なご協力を賜りました。また文化庁、大阪府教育委員会ならびに関係諸機関には、格別のご指導とご配慮をいただきました。このような各方面の方々のお力添えにより、豊中市の文化財保護行政が推進できましたことを、ここに厚く感謝いたしますとともに、今後ともより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和7年（2025年）3月31日

豊中市教育長 岩元義継

例 言

1. 本書は、令和5年度（2023年度）国庫補助事業（総額11,446,000円、国庫5,723,000円、市費5,723,000円）の一部、及び令和6年度（2024年度）国庫補助事業（総額9,432,000円、国庫4,716,000円、市費4,716,000円）として計画、実施した埋蔵文化財の緊急発掘調査の概要報告書である。また令和6年（2024年）1～3月に実施した確認調査の成果も併せて収録した。
2. 令和5年度（2023年度）事業として令和5年（2023年）4月1日から令和6年（2024年）3月31日まで、また令和6年度（2024年度）事業として令和6年（2024年）4月1日から令和7年（2025年）3月31日までの間、発掘調査ならびに整理作業を実施した。
3. 発掘調査は、本市教育委員会事務局社会教育課郷土資料館及び文化財保護係が実施した。
4. 本書のうち、第Ⅰ・Ⅱ章は小堀 僚が執筆した。また、第Ⅲ章は各調査担当者の見解をもとに、浅田尚子が執筆した。なお、全体の編集は小堀が行なった。
5. 各挿図に掲載した方位表記のうち、M. N. は磁北、また表記のないものは国土座標系（第Ⅵ系）に基づく座標北を示す。
6. 挿図・本文中の土色表記の基準は、『新版標準土色帖 2010年版』に基づく。
7. 挿図に掲載した出土遺物の縮尺は原則1：3または1：4とする。
8. 各調査地の土地所有者、施工業者ならびに近隣住民の方々には、文化財の保護に対して深いご理解とご協力をいただきました。併せてここに明記し、深謝いたします。

本書掲載本発掘調査一覧

遺跡名	回数	調査地	調査面積	担当者	調査期間
本町遺跡	第46次	豊中市本町3丁目103-1、104-1	65.0 m ²	小堀 僚	令和5年（2023年）5月9日 ～6月16日

目 次

第Ⅰ章 位置と環境	(小堀)
1. 地理的環境	1
2. 歴史的環境	1
第Ⅱ章 本町遺跡第46次調査	(小堀)
1. 調査の経緯	5
2. 調査の成果	7
(1) 遺跡の概要	7
(2) 基本層序	7
(3) 検出した遺構と遺物	7
3. まとめ	13
第Ⅲ章 確認調査の成果	(浅田)
確認調査の概要	15

挿図・表目次

(第Ⅰ章 位置と環境)

第1図 市内遺跡分布図	3
第2図 調査地点と周辺の地形	4

(第Ⅱ章 本町遺跡第46次調査)

第3図 調査範囲図 (1:300)	5
第4図 調査地位置図 (1:5,000)	5
第5図 調査区平面・断面図 (1:100)	6
第6図 竪穴住居1 平面・断面図 (1:30)	8
第7図 SP4・SP6 断面図 (1:30)	8
第8図 竪穴住居2 平面・断面図 (1:30)	9
第9図 SP19 断面図 (1:30)	9
第10図 土坑5 平面・断面図 (1:40)	10
第11図 土坑6 平面・断面図 (1:40)	11
第12図 7世紀代 出土遺物 (1:4)	12
第13図 7世紀代 出土遺物 (1:4)	12

第 14 図	弥生時代 出土遺物 (1 : 4)	13
第 15 図	古墳時代中期～廃絶期の小規模竪穴住居 (1 : 120)	14

(第Ⅲ章 確認調査の成果)

第 1 表	令和 6 年 (2024 年) 確認調査一覧表	15・16
第 16 図	確認調査地点位置図	17
第 17 図	トレンチ掘削状況	18
第 18 図	トレンチ断面図	18
第 19 図	トレンチ掘削状況	18
第 20 図	トレンチ断面図	18
第 21 図	トレンチ掘削状況	18
第 22 図	トレンチ断面図	18
第 23 図	トレンチ掘削状況	19
第 24 図	トレンチ平面・断面図	19
第 25 図	トレンチ掘削状況	19
第 26 図	トレンチ断面図	19
第 27 図	トレンチ掘削状況	19
第 28 図	トレンチ断面図	19
第 29 図	トレンチ掘削状況	20
第 30 図	トレンチ断面図	20
第 31 図	トレンチ掘削状況	20
第 32 図	トレンチ断面図	20
第 33 図	トレンチ掘削状況	20
第 34 図	トレンチ断面図	20
第 35 図	トレンチ掘削状況	21
第 36 図	トレンチ断面図	21
第 37 図	トレンチ掘削状況	21
第 38 図	トレンチ断面図	21
第 39 図	トレンチ掘削状況	21
第 40 図	トレンチ断面図	21
第 41 図	トレンチ掘削状況	22
第 42 図	トレンチ断面図	22
第 43 図	トレンチ掘削状況	22
第 44 図	トレンチ断面図	22
第 45 図	トレンチ掘削状況	22
第 46 図	トレンチ断面図	22
第 47 図	トレンチ掘削状況	23

第 48 図	トレンチ断面図	23
第 49 図	トレンチ掘削状況	23
第 50 図	トレンチ断面図	23
第 51 図	トレンチ掘削状況	23
第 52 図	トレンチ断面図	23
第 53 図	トレンチ掘削状況	24
第 54 図	トレンチ断面図	24
第 55 図	トレンチ掘削状況	24
第 56 図	トレンチ断面図	24
第 57 図	トレンチ掘削状況	24
第 58 図	トレンチ断面図	24
第 59 図	トレンチ掘削状況	25
第 60 図	トレンチ断面図	25
第 61 図	トレンチ掘削状況	25
第 62 図	トレンチ断面図	25
第 63 図	トレンチ掘削状況	25
第 64 図	トレンチ断面図	25
第 65 図	トレンチ掘削状況	26
第 66 図	トレンチ断面図	26
第 67 図	トレンチ掘削状況	26
第 68 図	トレンチ断面図	26
第 69 図	トレンチ掘削状況	26
第 70 図	トレンチ平面・断面図	26
第 71 図	トレンチ断面図	27
第 72 図	トレンチ掘削状況	27
第 73 図	トレンチ平面・断面図	27
第 74 図	トレンチ掘削状況	27
第 75 図	トレンチ断面図	27
第 76 図	トレンチ掘削状況	28
第 77 図	トレンチ平面・断面図	28
第 78 図	トレンチ掘削状況	28
第 79 図	トレンチ断面図	28
第 80 図	トレンチ掘削状況	28
第 81 図	トレンチ断面図	28
第 82 図	トレンチ掘削状況	29
第 83 図	トレンチ断面図	29

第 84 図	トレンチ掘削状況	29
第 85 図	トレンチ断面図	29
第 86 図	トレンチ掘削状況	29
第 87 図	トレンチ断面図	29
第 88 図	トレンチ掘削状況	30
第 89 図	トレンチ断面図	30
第 90 図	トレンチ掘削状況	30
第 91 図	トレンチ断面図	30
第 92 図	トレンチ掘削状況	30
第 93 図	トレンチ断面図	30
第 94 図	トレンチ掘削状況	31
第 95 図	トレンチ断面図	31
第 96 図	トレンチ掘削状況	31
第 97 図	トレンチ断面図	31
第 98 図	トレンチ掘削状況	31
第 99 図	トレンチ断面図	31
第 100 図	トレンチ掘削状況	32
第 101 図	トレンチ断面図	32
第 102 図	トレンチ掘削状況	32
第 103 図	トレンチ断面図	32
第 104 図	トレンチ掘削状況	32
第 105 図	トレンチ断面図	32
第 106 図	トレンチ掘削状況	33
第 107 図	トレンチ断面図	33
第 108 図	トレンチ掘削状況	33
第 109 図	トレンチ断面図	33
第 110 図	トレンチ掘削状況	33
第 111 図	トレンチ断面図	33
第 112 図	トレンチ掘削状況	34
第 113 図	トレンチ断面図	34
第 114 図	トレンチ掘削状況	34
第 115 図	トレンチ断面図	34
第 116 図	トレンチ掘削状況	34
第 117 図	トレンチ断面図	34
第 118 図	トレンチ掘削状況	35
第 119 図	トレンチ断面図	35
第 120 図	トレンチ掘削状況	35

第 121 図	トレンチ断面図	35
第 122 図	トレンチ掘削状況	35
第 123 図	トレンチ断面図	35
第 124 図	トレンチ掘削状況	36
第 125 図	トレンチ断面図	36
第 126 図	トレンチ掘削状況	36
第 127 図	トレンチ断面図	36
第 128 図	トレンチ掘削状況	36
第 129 図	トレンチ断面図	36
第 130 図	トレンチ掘削状況	37
第 131 図	トレンチ断面図	37
第 132 図	トレンチ掘削状況	37
第 133 図	トレンチ断面図	37
第 134 図	トレンチ掘削状況	37
第 135 図	トレンチ平面・断面図	37
第 136 図	トレンチ掘削状況	38
第 137 図	トレンチ断面図	38
第 138 図	トレンチ掘削状況	38
第 139 図	トレンチ断面図	38
第 140 図	トレンチ掘削状況	38
第 141 図	トレンチ断面図	38
第 142 図	トレンチ掘削状況	39
第 143 図	トレンチ断面図	39
第 144 図	トレンチ掘削状況	39
第 145 図	トレンチ断面図	39
第 146 図	トレンチ掘削状況	39
第 147 図	トレンチ断面図	39
第 148 図	トレンチ掘削状況	40
第 149 図	トレンチ断面図	40
第 150 図	トレンチ掘削状況	40
第 151 図	トレンチ断面図	40
第 152 図	トレンチ掘削状況	40
第 153 図	トレンチ断面図	40
第 154 図	トレンチ掘削状況	41
第 155 図	トレンチ断面図	41
第 156 図	壁面掘削状況	41
第 157 図	トレンチ断面図	41

第 158 図 トレンチ掘削状況	41
第 159 図 トレンチ断面図	41
第 160 図 トレンチ掘削状況	42
第 161 図 トレンチ平面・断面図	42
第 162 図 トレンチ掘削状況	42
第 163 図 トレンチ断面図	42

写真図版目次

図版 1 本町遺跡第 46 次調査

- (1) 調査前 (北西から)
- (2) 重機掘削 (東から)

図版 6 本町遺跡第 46 次調査

- (1) 土坑 5 (北から)
- (2) 土坑 5 遺物出土状況 (西から)

図版 2 本町遺跡第 46 次調査

- (1) 検出状況 3D スキャン (上から)
- (2) 西半部 検出状況 (北から)

図版 7 本町遺跡第 46 次調査

- (1) 土坑 6 (南西から)
- (2) 土坑 6 土師器甕出土状況

図版 3 本町遺跡第 46 次調査

- (1) 東半部 検出状況 (北から)
- (2) 完掘状況 3D スキャン (上から)

図版 8 本町遺跡第 46 次調査

- (1) 土坑 1 (北東から)
- (2) 土坑 4 (北から)

図版 4 本町遺跡第 46 次調査

- (1) 西半部 完掘状況 (北から)
- (2) 東半部 検出状況 (北から)

図版 9 本町遺跡第 46 次調査

- (1) 土坑 5 出土遺物 (第 12 図)
- (2) 土坑 6・竪穴住居 2 出土遺物 (第 12 図)

図版 5 本町遺跡第 46 次調査

- (1) 竪穴住居 1 (北から)
- (2) 竪穴住居 2 (北東から)

図版 10 本町遺跡第 46 次調査

- (1) 7 世紀代 出土遺物 (第 13 図)
- (2) 弥生時代 出土遺物 (第 14 図)

第 I 章 位置と環境

1. 地理的環境

豊中市は大阪市の北方に位置し、西は猪名川をはさんで兵庫県と接しており、旧国名では摂津国に属する。近世以前は大都市近郊の農村であったが、明治 43 年(1910 年)箕面有馬電気軌道(現在の阪急電鉄宝塚線)の開通を契機に宅地化が進み、現在では市域面積約 37 km²中に約 40 万人もの人口を擁する北摂最大の住宅都市へと発展した。ここに至った背景としては大阪市近郊であることに加え、名神高速道路や阪神高速道路などの自動車専用道路、阪急電鉄や北大阪急行電鉄、大阪モノレールによる電車網、さらには大阪国際空港に示される交通の利便性の高さが挙げられる。

一方、地形に目を転じると、豊中市は市内北部の島熊山付近(海拔約 120m)から最も低い大島町付近(海拔 1m 以下)にかけての比高差はおよそ 100m で、巨視的に見て北から南に向かって標高が徐々に低くなる地形を呈する。ここで地形的特徴に基づくと、おおよそ北部・中部・南部という三地域に区分可能である。北部一帯は、千里丘陵と刀根山丘陵と呼ばれる 2 つの丘陵地からなる。前者の千里丘陵は大阪層群の模式地としてその名が知られている通りである。中部一帯は、主に千里丘陵から派生する中・低位段丘を中心とした通称豊中台地に該当し、南部一帯は猪名川水系、天竺川、高川の沖積作用によって形成された平野部という見方ができる。第 II 章に述べる本町遺跡は、豊中台地の低位段丘上に立地する。

2. 歴史的環境

北部の丘陵地では、古墳時代後期に桜井谷窯跡群での須恵器生産が活発化する。その後、内田遺跡などで中世の居館も発見されており、急斜地を除く千里川沿いの谷部では中世段階に集落が成立している。豊中台地上では、弥生時代に新免遺跡などで集落が展開する。また岡町一帯に古墳時代、桜塚古墳群が成立する。蛍池東遺跡では大規模な倉庫群が発見されているなど、古墳時代中期の動向は注目される。南部の平野部では現在も条里地割の痕跡が市街地化してもなお、確認することができる。勝部遺跡や小曾根遺跡など弥生時代前期からの集落も発見されていることから、長らく農耕生産域であったと思われる。

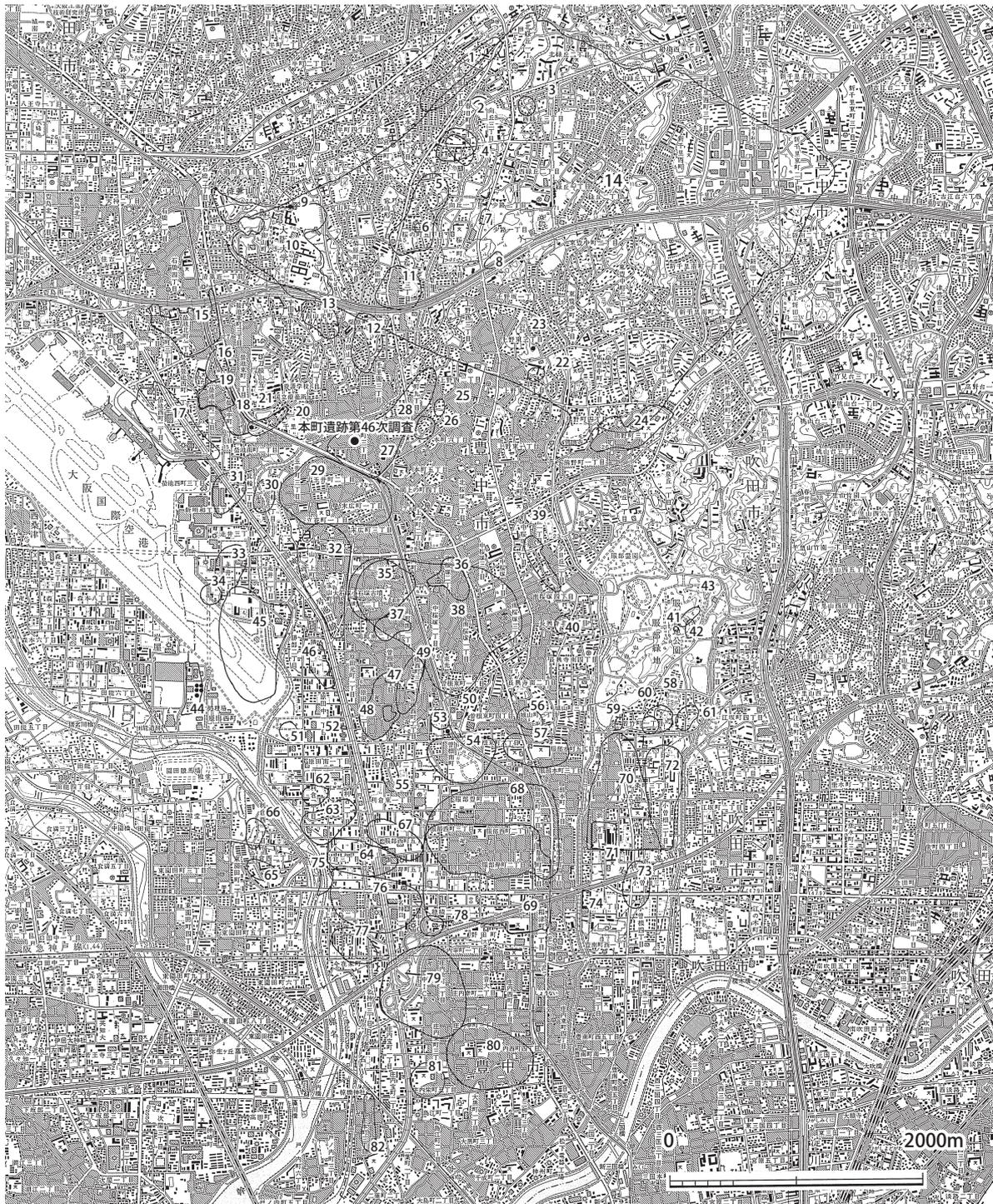
ここでは、今回報告する本町遺跡の動向を記述する。

千里川中流域に立地する本町遺跡は、弥生時代中期から近世の複合遺跡である。遺跡の盛期は古墳時代後期であり、竪穴住居や掘立柱建物などの集落遺構が、多数検出されている。また、焼成不良などの須恵器を廃棄した遺構が検出されており、北部の千里丘陵に広がる桜井谷窯跡群との深い関係性が指摘できる。南西に接する新免遺跡においても同様に須恵器の廃棄土坑が検出されており、千里川中流域において須恵器生産の隆盛とともに、集落が発展していく様子がわかる。新免遺跡では 6 世紀代を境として集落遺構が激減するが、本町遺跡では 7～8 世紀代にかけても集落遺構が検出されている。本町遺跡の北東に接する舌状丘陵には、終末期古墳である新免宮

2. 歴史的環境

山古墳群や、古代寺院の金寺山廃寺が位置するため、両者と関連性について留意していく必要がある。平安時代から中世にかけては遺跡の中央部付近で遺構が検出されている。近世になると、遺跡の南側から中央部にかけて集落遺構が多く検出されている。こちらは、明治期の地形図などから近世期の「新免村」の集落と同じ位置にあたり、その関連遺構といえる。

第Ⅱ章で報告する調査地は、遺跡の西部に位置している。古墳時代後期の須恵器関連集落の中心域内ではあるものの、周辺調査では検出される遺構密度は多くない。この時期の集落遺構が最も集中する範囲は約 100 mほど西側付近であるため、集落の縁辺部にあたるものと思われる。また、調査地周辺では弥生時代の遺構も若干検出されている。弥生時代中期から後期における中心集落は、南西に接する新免遺跡であり、新免遺跡で検出されている集落の縁辺部にあたるものと考えられる。



- | | | | | | |
|-----------------------|--------------------|-----------------------|--------------|-----------------------|--------------|
| 1. 太鼓塚古墳群 | 16. 蛭池東遺跡 | 31. 箕輪遺跡 | 46. 勝部東遺跡 | 61. 寺内遺跡 | 75. 上津島川床遺跡 |
| 2. 野畑春日町古墳群 | 17. 蛭池西遺跡 | 32. 山ノ上遺跡 | 47. 原田城跡(北城) | 62. 利倉北遺跡 | 76. 上津島遺跡 |
| 3. 野畑遺跡 | 18. 蛭池遺跡 | 33. 勝部北遺跡 | 47. 原田城跡(南城) | 63. 利倉遺跡 | 77. 上津島南遺跡 |
| 4. 野畑春日町遺跡 | 19. 麻田藩陣屋跡 | 34. 走井遺跡 | 48. 原田遺跡 | 64. 利倉南遺跡 | 78. 穂積ポンプ場遺跡 |
| 5. 少路遺跡 | 20. 南刀根山遺跡 | 35. 岡町北遺跡 | 49. 曾根遺跡 | 65. 利倉西遺跡 | 79. 島田遺跡 |
| 6. 武蔵岡部藩安部氏
椀井谷陣屋跡 | 21. 御神山古墳 | 36. 岡町遺跡 | 50. 曾根東遺跡 | 66. 椎堂の前遺跡 | 80. 庄内遺跡 |
| 7. 椀井谷石器散布地 | 22. 上野遺跡 | 37. 岡町南遺跡 | 51. 原田中町遺跡 | 67. 服部西遺跡 | 81. 島江遺跡 |
| 8. 羽鷹下池南遺跡 | 23. 青池古墳 | 38. 椀塚古墳群 | 52. 原田南遺跡 | 68. 穂積遺跡 | 82. 庄本遺跡 |
| 9. 待兼山古墳 | 24. 熊野田遺跡 | 39. 下原窯跡群 | 53. 曾根輪窯跡 | 69. 穂積村囲堤 | |
| 10. 待兼山遺跡 | 25. 金寺山廃寺 | 40. 長興寺遺跡 | 54. 豊島北遺跡 | 70. 小曾根遺跡 | |
| 11. 内田遺跡 | 26. 新免宮山古墳群 | 41. 梅塚古墳 | 55. 曾根南遺跡 | 71. 春日大社南郷目代
今西氏屋敷 | |
| 12. 柴原遺跡 | 27. 金寺山廃寺塔刹柱礎
石 | 42. 埴輪散布地 | 56. 城山遺跡 | 72. 北条遺跡 | |
| 13. 北刀根山遺跡 | 28. 本町遺跡 | 43. 大坂城鉄砲奉行支配
塙硝蔵跡 | 57. 服部遺跡 | 73. 小曾根南遺跡 | |
| 14. 椀井谷窯跡群 | 29. 新免遺跡 | 44. 原田西遺跡 | 58. 若竹町遺跡 | 74. 上総国飯野藩
保科氏兵陣屋跡 | |
| 15. 蛭池北(宮の前)遺跡 | 30. 箕輪東遺跡 | 45. 勝部遺跡 | 59. 石蓮寺廃寺 | | |
| | | | 60. 石蓮寺遺跡 | | |

第1図 市内遺跡分布図

2. 歴史的環境

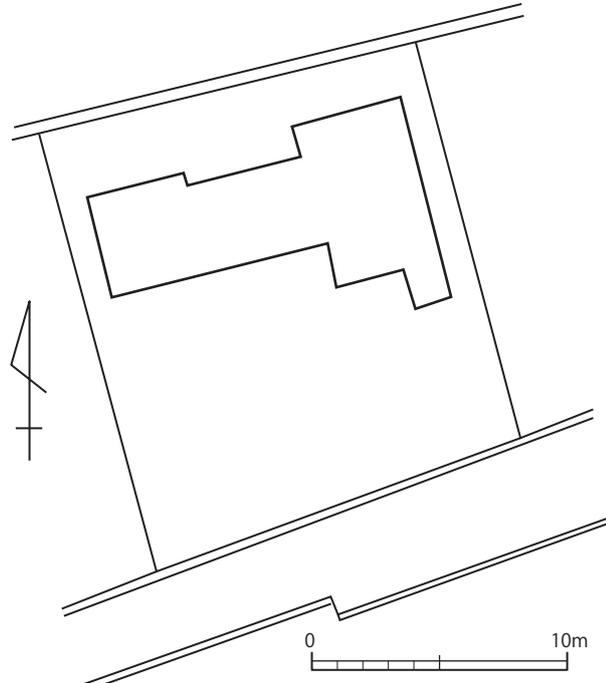


第2図 調査地点と周辺の地形

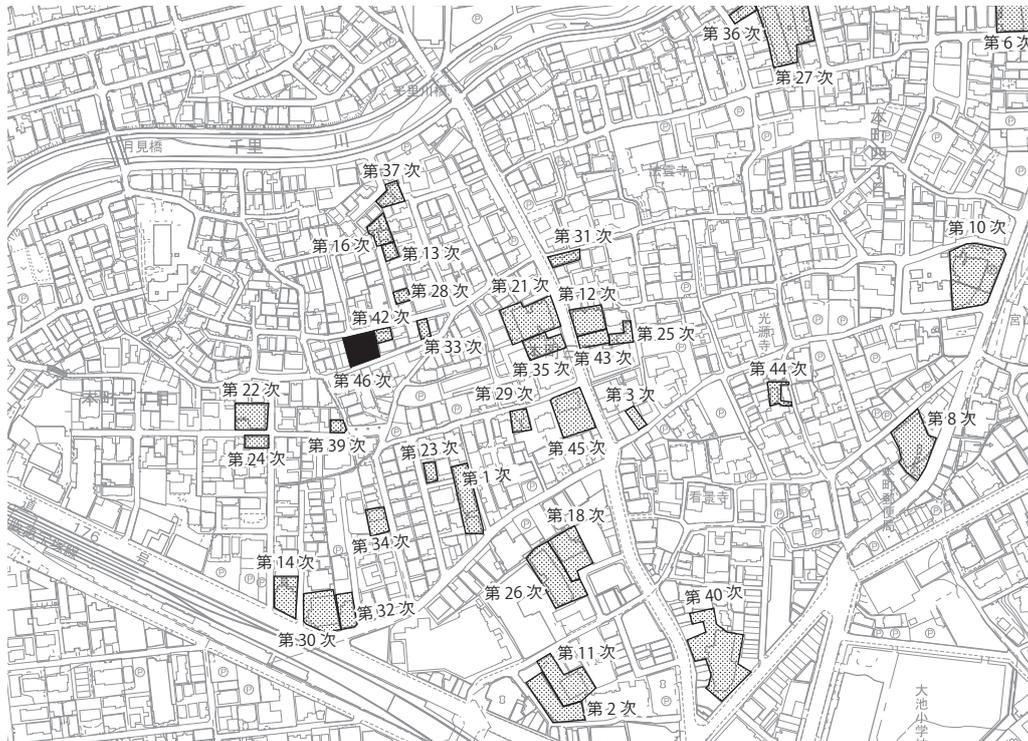
第Ⅱ章 本町遺跡第46次調査

1. 調査の経緯

今回の調査地は本町3丁目103-1、104-1に所在する。令和4年(2022年)12月26日に提出された土木工事等による埋蔵文化財発掘の届出に基づいて、令和5年(2023年)1月19日に確認調査を実施したところ、地表下70cmから100cmで基盤層とその上面より遺構を検出した。一方、建物の基礎に伴う掘削深度は深基礎部分で、地表下130cmに達することから、現行の計画の場合、遺構の損壊は免れないことが判明した。このことについて事業主と協議した結果、建築計画に変更の余地はなく、よって深基礎部分を対象に記録保存のための本発掘調査を実施することになった。現地調査は令和5年(2023年)5月9日から6月16日にかけて実施し、調査面積は65.0㎡である。

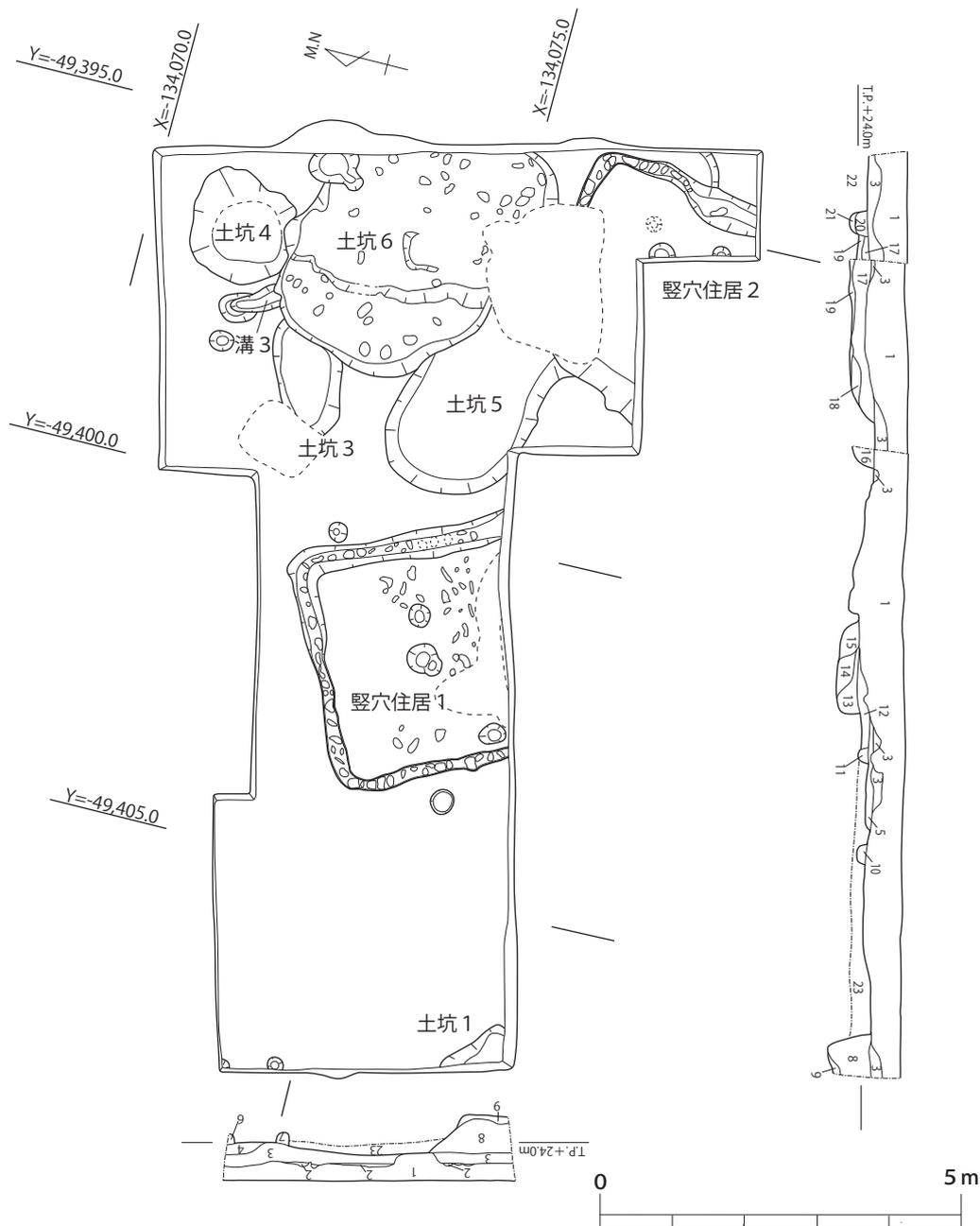


第3図 調査範囲図 (1:300)



第4図 調査地位置図 (1:5,000)

2. 調査の成果



1. 現代盛土
2. 5Y4/1 灰色細粒砂～極細粒砂。しまり悪い。
3. 2.5Y5/3 黄褐色中粒砂～細粒砂。しまり悪い。近世以降の陶磁器片を含む。
4. 10YR3/2 黒褐色極細粒砂～シルトに土器細片・径～0.5cm程度の礫を含む。
5. 10YR3/3 暗褐色シルトに径～3cm程度の礫をわずかに含む。
6. 10YR4/2 灰黄褐色極細粒砂～シルト（わずかに粗粒砂混じる）に径～1cm程度の基盤層ブロックを含む。【SP1 埋土】
7. 2.5Y4/2 暗灰黄色極細粒砂～シルト。【SP3 埋土】
8. 2.5Y3/1 黒褐色極細粒砂～シルトに土器片・径～3cm程度の礫を含む。【土坑1埋土】
9. 2.5Y4/2 暗灰黄色中粒砂～細粒砂に径～7cm程度の礫を非常に多く含む。【土坑1埋土】
10. 10YR4/2 灰黄褐色細粒砂に径～0.3cm程度の小礫を含む。（ピットもしくは溝埋土）
11. 10YR3/2 黒褐色極細粒砂に径～0.3cm程度の小礫を含む。【竪穴住居1壁埋土】
12. 10YR3/2 黒褐色極細粒砂に径～0.3cm、径～1cm程度の礫を含む。【竪穴住居1埋土】
13. 2.5Y5/2 暗灰黄色中粒砂、西側にかけてグラデーション状に基盤層化する。（倒木痕埋土）
14. 5Y3/1 オリーブ黒色シルト。しまり悪い。（倒木痕埋土）
15. 2.5Y4/1 黄灰色極細粒砂、径～20cm程度の基盤層ブロックを含む。（倒木痕埋土）
16. 10YR3/2 黒褐色極細粒砂に須恵器片（焼成不良品含む）、土師器片を多く含む。【土坑5埋土】
17. 10YR3/1 黒褐色シルト。鉄分を多く含み、径～5cm程度の礫をわずかに含む。土師器片・須恵器片を含む。【竪穴住居2埋土】
18. 10YR3/1 黒褐色シルト。17層よりも鉄分を含まない。【竪穴住居2埋土】
19. 2.5Y5/2 暗灰黄色極細粒砂～シルトに径～2cm程度の基盤層ブロックが非常に多く混じる。土師器片・須恵器片を含む。【竪穴住居2埋土】
20. 10YR3/1 黒褐色シルトに径～0.5cm、径～1cm程度の礫を含む。【竪穴住居2壁埋土】
21. 2.5Y4/2 暗灰黄色中粒砂～シルトに径～1cm、径～3cm程度の礫を多く含む。【竪穴住居2壁埋土】
22. 2.5Y6/2 灰黄色細粒砂に径～3cm程度の礫が密度高く非常に多く含む。【基盤層】
23. 10YR8/1 灰白～10YR6/8 明黄褐色極細粒砂。下層ほど礫混じる。【基盤層】

第5図 調査区平面・断面図（1：100）

2. 調査の成果

(1) 遺跡の概要

調査地の半径約 100 m 以内では、第 13・16・23・28・33・39・42 次調査が実施されている。調査地の東側隣接地で行われた第 42 次調査では、古墳時代後期の竪穴住居の可能性のある土坑や溝が検出されている。しかし遺構密度は希薄であり、古墳時代の集落の縁辺部となる可能性が指摘されている。また少数ではあるが、一部弥生土器片が出土している。その他の調査でも竪穴住居や土坑が確認されているが、遺構密度は低く、調査地一帯は古墳時代後期における本町遺跡の中心地からは外れた集落地の縁辺部と言えるだろう。一方、南に位置する第 23 次調査では造りつけカマドを伴う竪穴住居などが検出されており、遺構の重複関係も激しいため、集落の中心地と言える。また能勢街道がはしる東方の第 45 次調査地周辺もかなりの遺構の重複関係が認められるため、こちらも集落地の中心と言える。弥生時代の遺構は少ないものの、第 39 次調査において後期から終末期にかけての竪穴住居、第 23 次調査において弥生時代中期の竪穴住居と考えられる土坑が検出されている。また第 28 次調査地では、盛行する時期から少し新しい 6 世紀後半から 7 世紀代の遺構も確認されている。

(2) 基本層序

調査地の基本層序は、第 1 層の現代盛土層、第 2 層（第 5 図では 3 層）の近世以降の陶磁器片を含む 2.5Y5/3 黄褐色中粒砂～細粒砂、第 3 層（第 5 図では 22・23 層）の 10YR8/1 灰白～10YR6/8 明黄褐色極細粒砂（基盤層）となっている。遺構面は基盤層となる第 3 層上面であり、第 2 層までの重機掘削後、人力で掘削し調査を行った。

(3) 検出した遺構と遺物

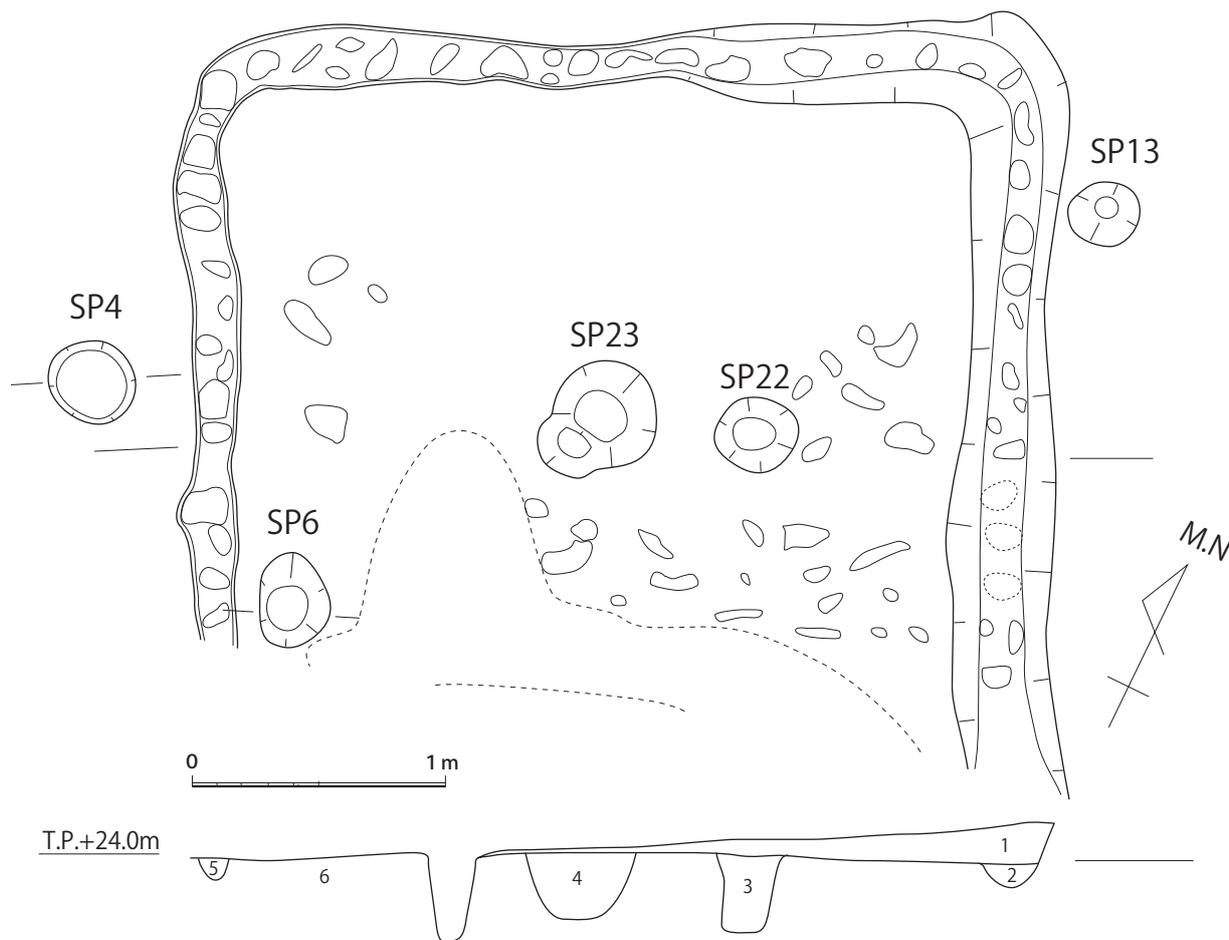
検出した遺構の年代はおおよそ 6 世紀代と 7 世紀代の 2 時期に分けられる。そのほか近世頃と考えられる遺構や弥生土器が出土している。以下、時期別に報告する。

6 世紀代

竪穴住居 1 調査区中央部で検出した一辺約 3.5m の方形の竪穴住居である（第 6 図）。南辺は調査区外のため検出していないが、調査地内の全周にわたり壁溝を検出した。住居の埋土は東側で一部残存していたが、西側は後世の削平を受け、検出面では壁溝埋土のみの検出にとどまっている。住居の中央部で検出した SP23 は竪穴住居 1 に伴う主柱穴と考えられる。またピットの深度から SP6・SP22 も竪穴住居関連のピットの可能性がある。SP4 も住居外にあるものの、周囲に属する遺構がみられないため、住居関連の遺構の可能性もある（第 7 図）。住居の壁溝内には側溝の掘削痕が明瞭に残る。また住居内部の基盤層面でも掘削痕がよく残っている。遺物は細片のため図化できなかったが、出土した須恵器片より、竪穴住居 1 は 6 世紀前半頃に機能していたものと考えられる。

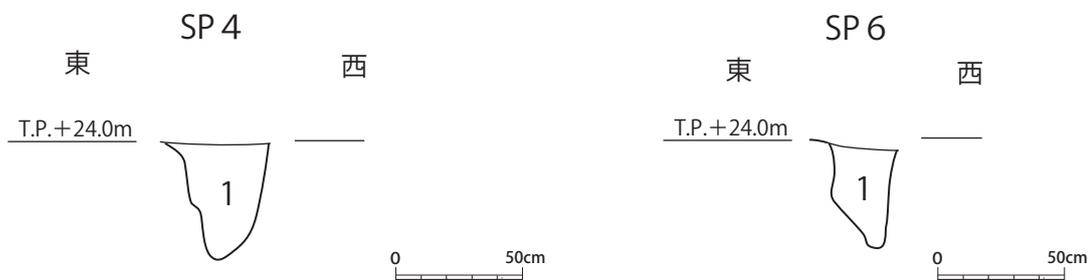
竪穴住居 2 調査区の南東部で検出した方形の竪穴住居である（第 8 図）。住居の南半分は調査区外であり、北側の一部が攪乱で削平を受けているため、一部不明瞭な状態ではあるが、一辺約 3.4～3.5m の住居と考えられる。壁溝は東側で確認しており、壁溝内に掘削痕がよく残っている。SP19 が住居に伴うピットの可能性が高い（第 9 図）。竪穴住居 2 の埋土からは第 12 図 13 の須恵器坏身が出土している。復元口径 12.6cm で口縁端部に段が明瞭に残る。これらの出土遺物から、竪穴住居

2. 調査の成果



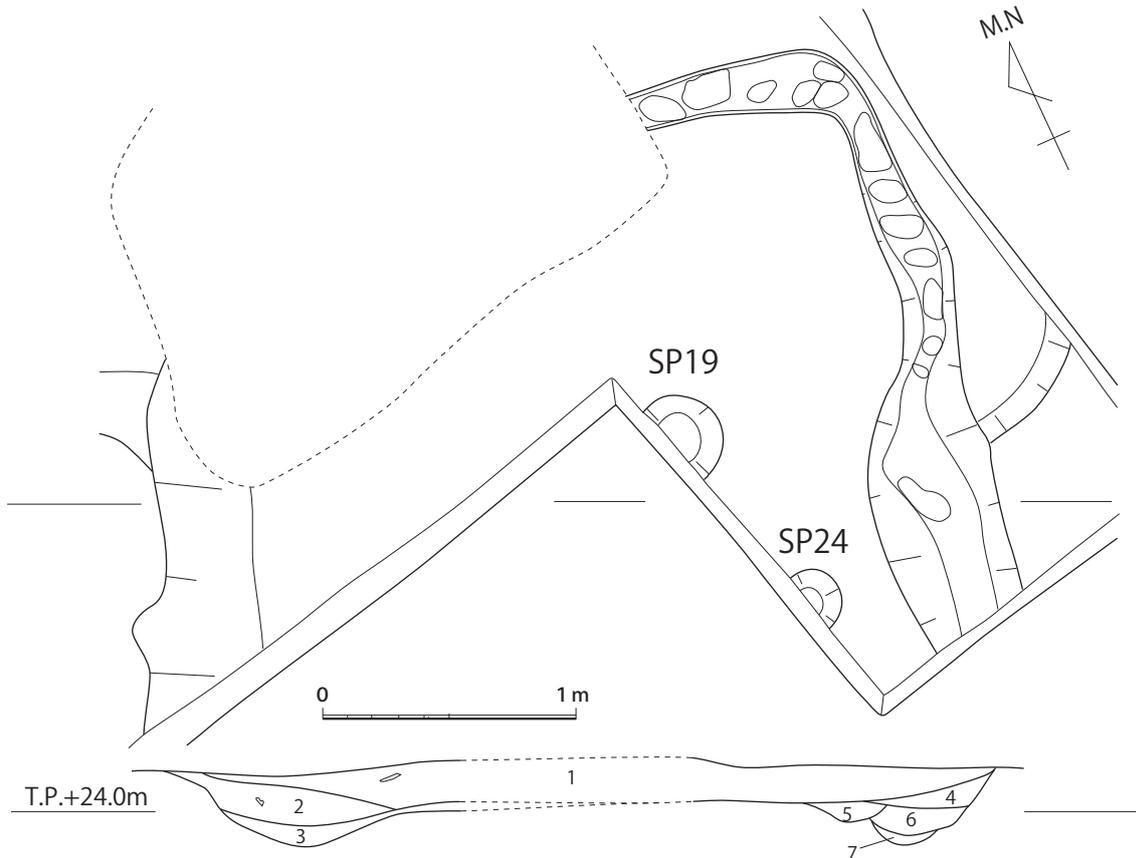
1. 10YR2/2 黒褐色極細粒砂～シルト。粘性なし。しまり強い。径5mm程度の基盤層ブロック混じる。(住居埋土)
2. 10YR4/4 褐色極細粒砂～シルト。しまり強い。(壁溝埋土)
3. 10YR3/3 暗褐色極細粒砂～シルト。しまり強い。径5mm程度の基盤層ブロック混じる。(SP22埋土)
4. 10YR3/3～3/4 暗褐色極細粒砂～シルト。しまり強い。径5mm程度の礫を少量含む。(SP23埋土)
5. 10YR3/4 暗褐色極細粒砂～シルト。しまり強い。(壁溝埋土)
6. 10YR7/6 明黄褐色極細粒砂～シルト。しまり弱い。(基盤層)

第6図 竪穴住居1 平面・断面図 (1:30)



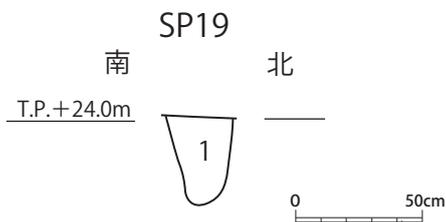
1. 10YR4/2 灰黄褐色極細粒砂～シルト。しまりやや強い。
1. 10YR4/2 灰黄褐色極細粒砂～シルト。しまりやや強い。
(径5～20cmの礫を含む)

第7図 SP4・SP6断面図 (1:30)



1. 10YR3/1 黒褐色極細粒砂～シルトに鉄分の褐色土がまばらに混じる。(須恵器片・土師器片を含む)
2. 2.5YR3/1 黒褐色シルト。しまりやや悪い。(須恵器片・土師器片を含む)
3. 2.5Y4/1 黄灰色極細粒砂に径～2cm程の基盤層ブロックが多く混じる。(須恵器片・土師器片を含む)
4. 10YR4/1 褐灰色～5YR4/4 にぶい赤褐色シルト～極細粒砂に径～3cm程の礫を含む。(壁溝埋土)
5. 2.5Y5/1 黄灰色中粒砂に径～1.5cm程の基盤層ブロックが多く混じる。しまり悪い。(壁溝埋土)
6. 10YR4/1 褐灰色シルトに鉄分の褐色土・径～3cm程の礫をやや含む。(壁溝埋土)
7. 2.5Y4/1 黄灰色シルト～粗粒砂。しまり悪い。(壁溝埋土)

第8図 竪穴住居2 平面・断面図 (1:30)



1. 5Y3/1 オリーブ黒色極細粒砂～シルト。しまり強い。

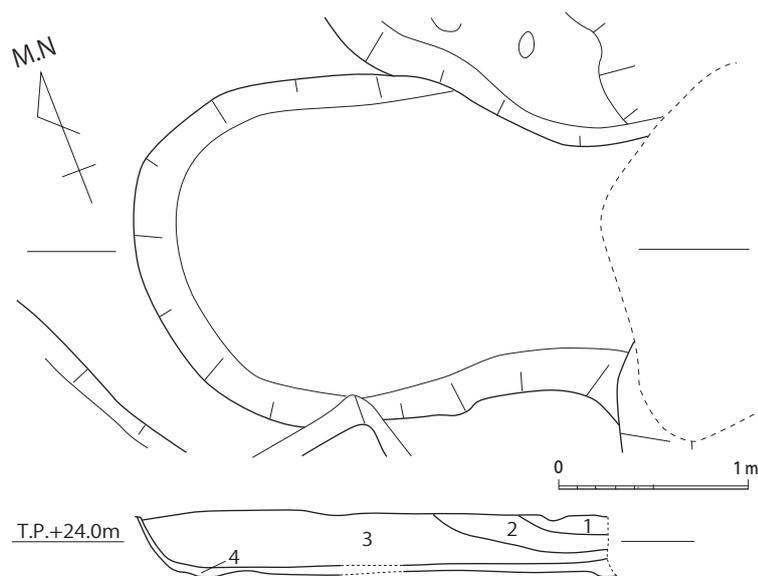
第9図 SP19 断面図 (1:30)

2は6世紀前半頃に機能したと考えられる。

土坑5 調査区東部で検出した、楕円形の土坑である(第10図)。攪乱により東西幅は不明瞭だが、南北1.9m×東西2.5m以上、検出面からの最大深度は35cmの規模をはかる。底面はやや平坦に整えられている。土坑5からは、須恵器・土師器とともに須恵器の焼成不良品が多く出土した。土坑5から出土した遺物は第12図1～5である。

第12図1は須恵器の坏蓋で、復元口径は13.0cmである。外面の段は明瞭にみられ、口縁端部内側の段も明瞭に残る。第12図2は、須恵器の坏身端部に坏蓋が融着した個体である。わずかに突出している坏身受部の径は14.4cmである。坏身部の口縁は、端部に明瞭な段がみられる。坏蓋部の口縁は融着個体であるため、不明瞭ではあるが、端部にゆるい段があることが確認できる。この個体は

2. 調査の成果

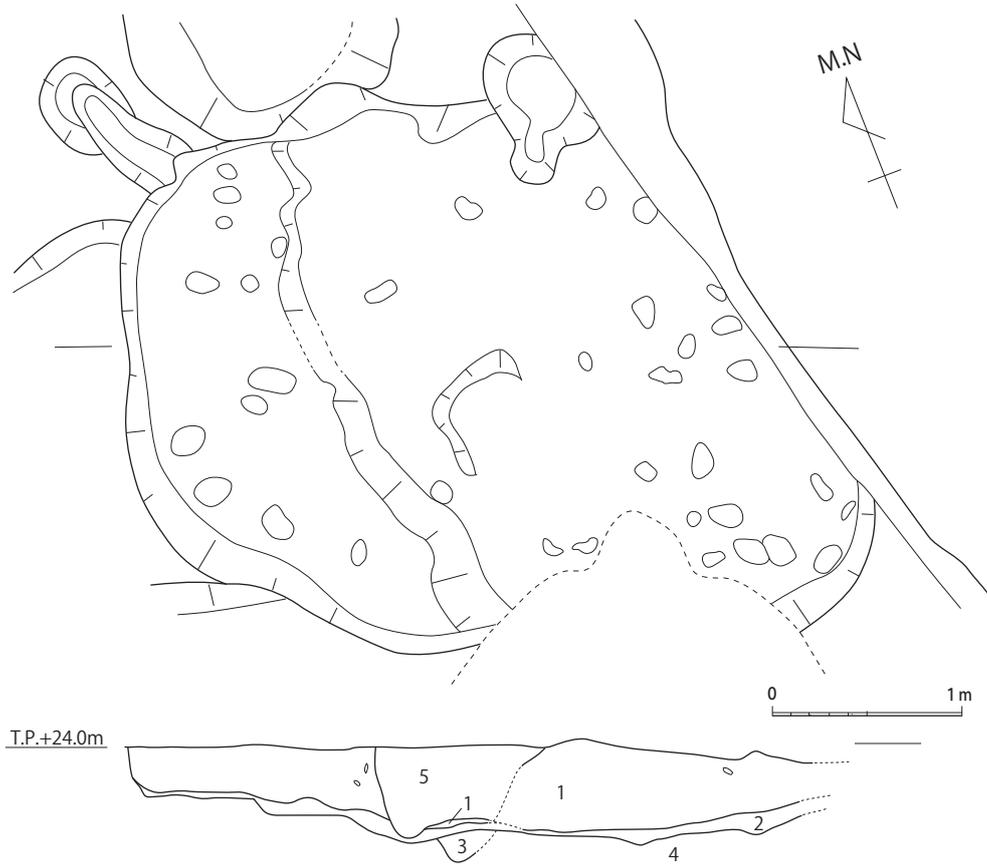


1. 10YR3/4 暗褐色極細粒砂に径～5mm程の基盤層ブロックが混じる。しまり強い。
2. 10YR2/3 黒褐色極細粒砂。しまり強い。
3. 10YR2/3 黒褐色極細粒砂に径2～5mm程の基盤層ブロックが混じる。
4. 10YR4/2 黄灰褐色極細粒砂に基盤層ブロックが混じる。径～3cm程の礫やや含む。しまり弱い。

第10図 土坑5 平面・断面図 (1:40)

焼成時に坏身・坏蓋の重ね焼きを実施した際に融着し、廃棄されたものと推定される。第12図3・4は須恵器の坏身である。3の復元口径は14.4cmであり、口縁端部には明瞭な段が確認され、受部と口縁部の境界内側は凹線状のへこみが確認できる。4の復元口径は13.0cmであり、口縁端部に段はみられない。立ち上がりが低く、土坑5から出土している須恵器の中で年代的に新相の特徴をもつ。色調が土師質であり、関東系の土師器の坏身らしい見た目をしているが、桜井谷窯跡群で生産された焼成不良の坏身と考えられる。第12図5は、須恵器の甕口縁部から頸部である。頸部から口縁部にかけてはやや直口している。これらの出土遺物から土坑5は、6世紀前半から中頃に機能したと考えられる。土坑5内の出土遺物は接合できた須恵器片が少ないため、桜井谷窯跡群で生産され、不良品と判断された個体の一括廃棄土坑とは言い難いが、少なくとも焼成不良品を含めた不要な土器片を埋めた土坑と考えられる。

土坑6 同じく調査区東部で検出した不定形の土坑である(第11図)。南北約4m×東西推定5m、検出面からの最大深度は50cmの規模をはかる。底面は掘削痕がよく残る。土坑5と同様に須恵器・土師器及び須恵器の焼成不良品が出土しているが、土坑の大きさの割に土坑5より出土した遺物の量は若干少ない。土坑6から、第12図6～12の遺物が出土している。第12図6・7は須恵器の坏蓋である。6は復元口径11.4cmであり、口縁端部には明瞭な段が確認できる。7は復元口径13.0cmで、口縁端部の段はみられず、6と比べ簡素なつくりとなっている。第12図8～10は須恵器の坏身である。8は復元口径10.6cmであり、口縁端部の段がみられるほか、受部も丁寧なつくりになっている。9は口縁端部がわずかに欠けているが、復元口径12.8cmで、口縁端部の段が確認できる。10は復元口径11.8cmで、口縁端部に段はみられないものの、受部は丁寧なつくりにな



1. 10YR2/3 黒褐色極細粒砂～シルト。しまり強い。(径～5mm程度の基盤層ブロック、須恵器・土師器片を含む)
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色極細粒砂。しまり弱い。(基盤層ブロックが多く混じる、東側ほど礫を含む)
3. 10YR5/6 黄褐色極細粒砂～シルト。しまり強い。
4. 10YR7/6 明黄褐色極細粒砂～シルト。(基盤層)
5. 攪乱

第11図 土坑6 平面・断面図(1:40)

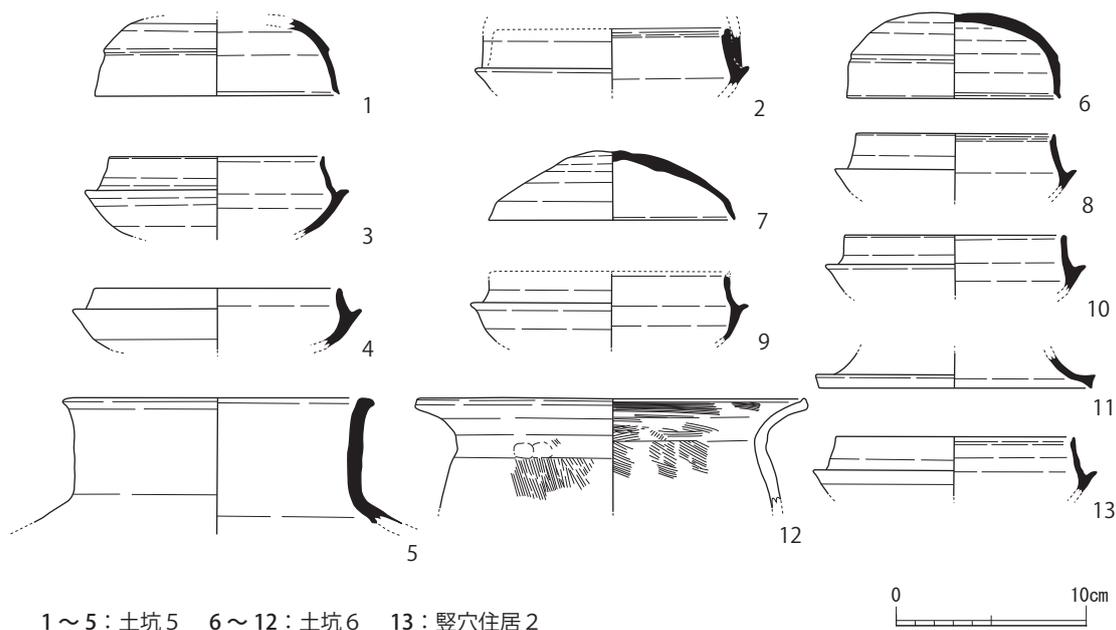
っている。第12図11は須恵器の高坏脚端部で復元底部径は14.4cmである。端部は、やや垂直気味に落ちている。第12図12は土師器の甕で、復元口径は20.4cmである。口縁端部の内面は立ち上がりが見られ、外面は凹線がめぐる。外面の頸部にわずかに押圧痕が見られるが、外面・内面ともに斜め方向のハケ目が見られる。これらの出土遺物から土坑6は、6世紀前半から中頃に機能していたと考えられる。土坑6の掘削意図は不明瞭であるが、土坑5と同様に、桜井谷窯跡群で生産された焼成不良品の須恵器も含め、不要な土器片を埋めたものと考えられる。

土坑1 調査区西部で検出した土坑である。一部を検出したに過ぎず、時期を決定づける遺物は出土していないが、埋土の特徴から、6世紀頃の遺構と考えられる。

7世紀代

溝3 調査区東側で検出した南北方向の溝で、土坑6の上面を削平する。第5図の調査区平面・断面図は土坑6完掘後の状況図であるが、検出時、溝3は土坑6の南辺あたりまで続いていた。幅約30cm、検出面からの深さは約10cmである。溝3からは、第13図1の須恵器坏G蓋が出土している。口径は10.5cmであり、天井部中央には宝珠つまみがつく。口縁部内部の折り返しはかなり簡

2. 調査の成果



第12図 6世紀代 出土遺物（1：4）

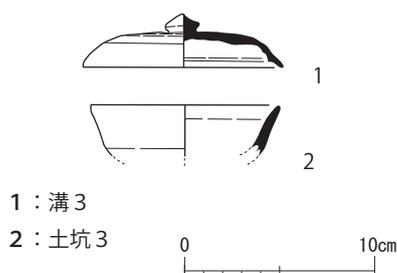
素化しており、少し摘みだして成形する程度におさえられている。これらの特徴から7世紀中頃から後半頃の溝と考えられる。

土坑3 同じく調査区東側で検出した楕円形の土坑である。南北約1m×東西約1.8m、検出面からの深度は10cmをはかる。土坑3からは、第13図2の須恵器坏G身が出土した。復元口径は10.0cmであり、残存高は2.7cmである。これらの特徴から土坑3は、おおよそ7世紀におさまるものと考えられる。

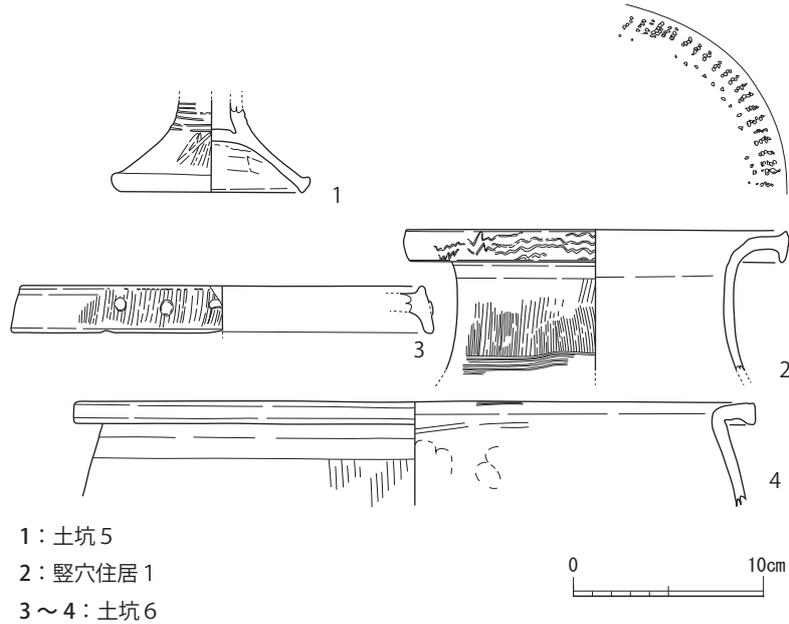
その他の遺構・遺物

土坑4 調査区の東側で検出した円形の土坑で、直径約1.5mの規模をはかる。検出面より90cmまで掘削を試みたが、底面を検出するにいたらなかった。近世頃に機能した井戸と考えられる。近世の遺構としては、このほかに竪穴住居2の埋土上面から掘削されたピットを1基検出している。これらの近世遺構は、近世期に調査地周辺で集落が展開した旧新免村の関連遺構と考えられる。

今回の調査では弥生時代に遡る遺構の検出は無かったが、6世紀代の遺構埋土から多数の弥生土器が出土した（第14図）。第14図1は高坏の脚部であり土坑5から混入して出土している。底部径は9.7cmであり、ミガキと横方向の凹線文がみられる。第14図2は壺口縁部であり、竪穴住居1の壁溝埋土から出土した。復元口径は20.0cmで、口縁端部外面には波状文、端部内面には列点文が施されている。また頸部外面にはミガキが施されている。第14図3・4は土坑6に混入して出土した。3は壺口縁部であ



第13図 7世紀代 出土遺物（1：4）



第14図 弥生時代 出土遺物（1：4）

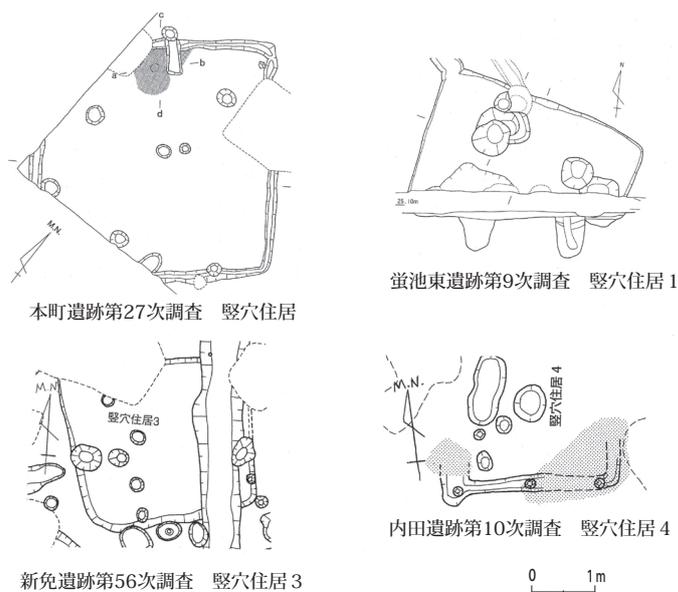
る。復元口径は 21.0cm で、外面には縦方向の簾状文に、円形浮文が施されている。4 は甕口縁部で、復元口径は 35.8cm である。土坑 6 では他の遺構に比べ多くの弥生土器片が出土している。このことから、土坑 6 掘削時に弥生時代の遺構を削平している可能性がある。

3. まとめ

(調査のまとめ)

今回の調査では、古墳時代後期（6世紀代）の小型の竪穴住居2棟と、焼成不良の須恵器片を含む土坑2基など、桜井谷窯跡群の須恵器生産に関連すると考えられる集落遺構を検出することができた。検出された竪穴住居は一辺が約3.5mと小型であり、今回検出した住居が、いわゆる「家」なのか「作業小屋」なのかという問題はあるが、桜井谷窯跡群の須恵器生産と関わりがある集団が、当調査地で活動していた可能性が指摘される。竪穴住居のすぐそばで検出された土坑2基も、少なくとも検出面からは深さ30cm～50cmと、一程度の深さを有した土坑であり、竪穴住居2棟ともほぼ同時期（6世紀前半頃）の範疇に機能したとみて間違いはない。本町遺跡第45次調査地（当調査地より東に約100m）では、6世紀代における急激な集落地造成が行われていることが判明している。今回の調査地も第45次調査地に比べ遺構密度は少ないが、6世紀代における本町遺跡の集落拡大の一端を垣間見ることができた。また、わずかな遺構検出にとどまったが、7世紀代の遺構も今回検出できた。6・7世紀の遺構はそれぞれ中心域から外れているものの、縁辺部においても活動痕跡を検出することができたとと言えるであろう。また、今回の調査では遺構は検出していないものの、一定量の弥生土器が出土した。弥生時代中期～後期における集落の中心は南東に300m程離れた新免遺跡内で検出されている。当調査地周辺は弥生集落の縁辺部にあたると考えられ、実際に本町遺跡第39次調査地などでは弥生時代の竪穴住居が検出されている。当調査地にも何らかの

3. まとめ



第15図 古墳時代中期～廃絶期の小規模竪穴住居（1：120）

なかったこともあり、方形の土坑の可能性も残る。そのため、過去に検出されている古墳時代中期から竪穴住居廃絶期の、過去に報告されている小規模竪穴住居を抜粋した（第15図）。本町遺跡第27次調査の竪穴住居は、8世紀中頃とやや新しいが3.8m四方の方形住居で、壁溝およびカマド遺構が検出されている（註1）。蛭池東遺跡第9次調査の竪穴住居1は、3.4m四方の方形住居と考えられる（註2）。新免遺跡第56次調査の竪穴住居3は、3.5m×2.5m四方の方形住居と考えられる（註3）。内田遺跡第10次調査の竪穴住居4は「小屋的なもの」と報告されているが、2.9m四方の方形住居で、壁溝内にピットが検出されている（註4）。各住居遺構には特徴があるものの、一般的な竪穴住居の特徴をもっていると言えるだろう。今回の検証から、竪穴住居1、竪穴住居2に関しては小規模ではあるものの、約3.5m四方の方形竪穴住居は、古墳時代後期における一般的な小規模な竪穴住居の範疇におさまるものと思われる。

遺構があった可能性が高いが、6世紀代の集落開発により遺構は削平を受けたものと考えられる。いずれにせよ弥生時代の集落が当調査地まで広がっていることが確認できたことは重要とっていいだろう。

（今回検出した竪穴住居の位置づけ）

今回検出した竪穴住居は住居1、住居2ともに一辺約3.5m程度の小型の竪穴住居である。はたして、この規模の竪穴住居が住居として機能していたかという問題がある。小規模で、すべての主柱穴も見つから

（註1）陣内高志 2003「本町遺跡第27次調査」『豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 平成14年度』豊中市教育委員会

（註2）服部聡志 1997「蛭池東遺跡第9次調査の概要」『豊中市埋蔵文化財発掘調査概要—阪神淡路大震災復旧・復興事業に伴う発掘調査—平成7年度』豊中市教育委員会

（註3）清水 篤 2004「新免遺跡第56次調査」『豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 平成15年度』豊中市教育委員会

（註4）清水 篤 2014「内田遺跡第10次調査」『豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 平成24・25年度』豊中市教育委員会

第Ⅲ章 確認調査の成果

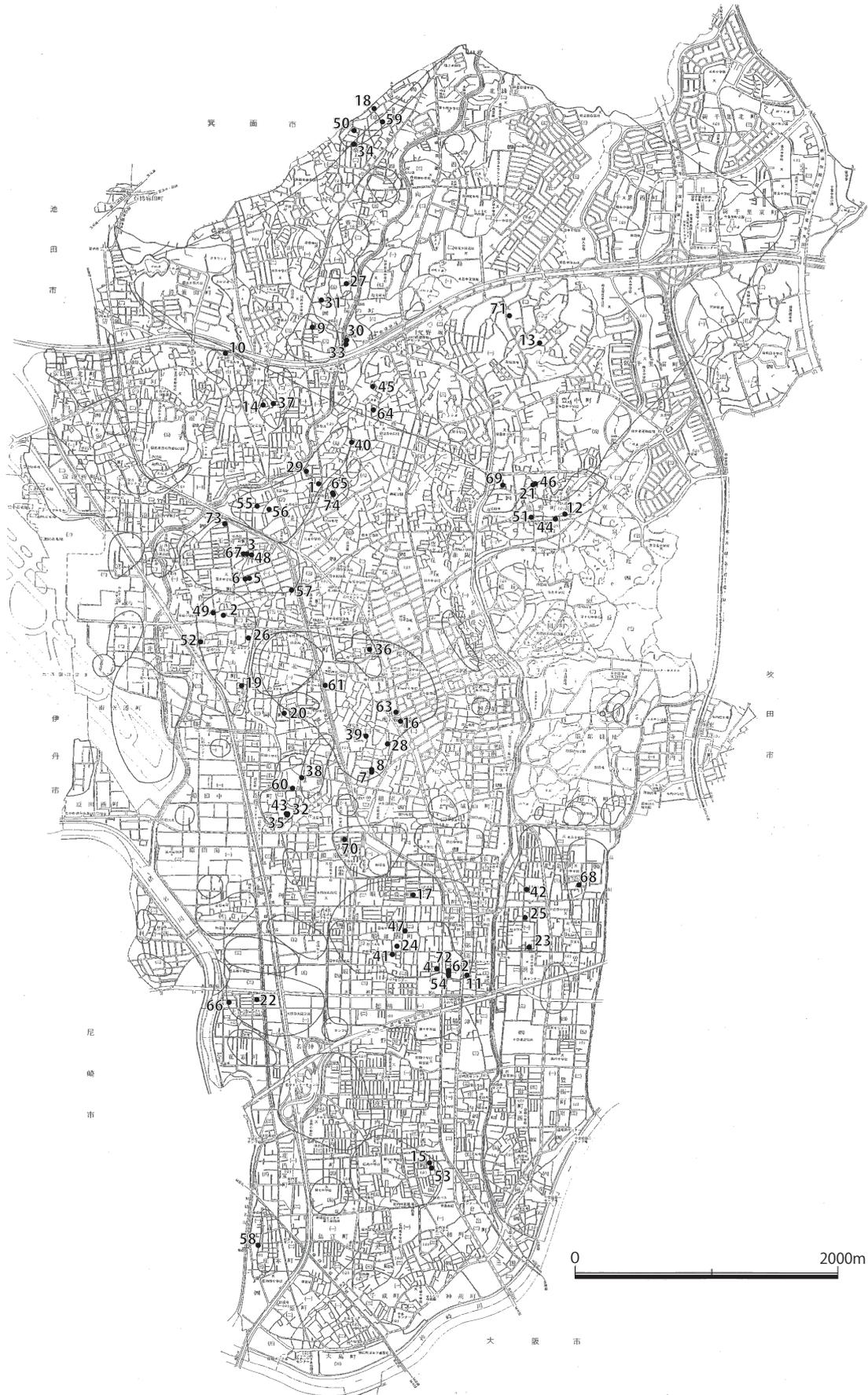
令和6年（2024年）1月から12月の間に個人住宅を対象に行った確認調査は74件を数え、令和5年度16件、令和6年度58件という内訳である。このうち、11件の調査で遺構等が確認されたが、建物に伴う基礎掘削が遺構面に達しないことなどから、本格的な発掘調査を行うには至っていない。

以下、確認調査の概要について報告する。第16図に掲載した調査地点位置図の番号および各確認調査の番号は、下表の番号に対応する。

第1表 令和6年（2024年）確認調査一覧表

番号	遺跡名	所在地	調査日	調査原因	調査対象面積 (㎡)	遺跡等の有無	調査後の処置	担当者	備考
1	本町遺跡	本町4丁目88-2	20240118	個人住宅建設	68.24	未	慎重工事	小堀	盛土内
2	山ノ上遺跡	立花町2丁目113-2の一部 他	20240125	個人住宅建設	69.35	無	着工	小堀	
3	新免遺跡	玉井町2丁目79-1の一部	20240125	個人住宅建設	70.47	無	着工	中村	
4	穂積遺跡	服部寿町1丁目702-11の一部	20240125	個人住宅建設	48.84	有	再立会後、慎重工事	中村	基礎浅
5	新免遺跡	末広町1丁目109-5	20240201	個人住宅建設	65.41	無	着工	小堀	
6	新免遺跡	末広町1丁目109-4	20240201	個人住宅建設	56.31	無	着工	小堀	
7	桜塚古墳群	曾根東町1丁目79-2の一部	20240222	個人住宅建設	52.90	無	着工	中村	
8	桜塚古墳群	曾根東町1丁目79-1の一部	20240222	個人住宅建設	50.21	無	着工	中村	
9	内田遺跡・桜井谷窯跡群	桜の町3丁目26-11	20240229	個人住宅建設	46.78	無	着工	中村	
10	北刀根山遺跡	刀根山元町118-1の一部	20240229	個人住宅建設	47.20	無	着工	中村	
11	穂積遺跡	服部南町4丁目31-6、32-10	20240307	個人住宅建設	67.11	無	着工	中村	
12	熊野田遺跡	熊野町3丁目179-3、4	20240314	個人住宅建設	182.18	無	着工	中村	
13	桜井谷窯跡群	東豊中町3丁目195-1の一部	20240314	個人住宅建設	91.17	無	着工	中村	
14	柴原遺跡	刀根山2丁目213-1	20240321	個人住宅建設	74.53	無	着工	小堀	
15	庄内遺跡	庄内西町4丁目36-9	20240321	個人住宅建設	84.07	未	慎重工事	小堀	周辺遺構無
16	桜塚古墳群	南桜塚2丁目43	20240328	個人住宅建設	100.62	無	着工	中村	
17	穂積遺跡	服部豊町1丁目74-3	20240404	個人住宅建設	91.61	無	着工	中村	
18	太鼓塚古墳群	永楽荘3丁目85-10	20240411	個人住宅建設	71.82	無	着工	中村	
19	山ノ上遺跡	宝山町47-2、48-4の一部	20240418	個人住宅建設	56.54	未	着工	陣内	盛土内
20	岡町南遺跡	岡町南2丁目18-7の一部	20240425	個人住宅建設	67.07	無	着工	陣内・上野	
21	桜井谷窯跡群	熊野町4丁目68-11	20240425	個人住宅建設	45.16	無	着工	中村	
22	上津島遺跡	上津島2丁目130-24	20240502	個人住宅建設	35.40	未	慎重工事	中村	基礎浅
23	小曾根遺跡・今西氏屋敷	浜1丁目435-10	20240502	個人住宅建設	32.40	無	着工	中村	
24	穂積遺跡	服部西町2丁目762-3の一部	20240509	個人住宅建設	45.58	無	着工	中村	
25	小曾根遺跡	浜1丁目287-10	20240509	個人住宅建設	40.12	無	着工	中村	
26	山ノ上遺跡	宝山町119-3の一部	20240509	個人住宅建設	57.13	無	着工	中村	
27	少路遺跡・桜井谷窯跡群	桜の町5丁目72-23	20240516	個人住宅建設	37.26	有	慎重工事	中村	遺構密度希薄
28	桜塚古墳群	南桜塚1丁目242-1	20240530	個人住宅建設	53.61	無	着工	陣内・上野	
29	本町遺跡	本町4丁目149-4の一部	20240613	個人住宅建設	40.57	有	再立会後、慎重工事	中村	基礎浅
30	桜井谷窯跡群	桜の町6丁目176-5	20240613	個人住宅建設	50.51	無	着工	中村	
31	少路遺跡・桜井谷窯跡群	桜の町5丁目7-3	20240620	個人住宅建設	73.11	有	慎重工事	中村	盛土内
32	原田遺跡	原田元町3丁目15-3	20240620	個人住宅建設	32.68	無	着工	中村	
33	桜井谷窯跡群	桜の町6丁目176-6	20240620	個人住宅建設	44.18	無	着工	中村	
34	太鼓塚古墳群・桜井谷窯跡群	永楽荘2丁目151-1	20240711	個人住宅建設	105.17	無	着工	中村	
35	原田遺跡	原田元町3丁目15-8	20240718	個人住宅建設	40.50	未	慎重工事	中村	基礎浅
36	岡町遺跡・桜塚古墳群	中桜塚2丁目287-8	20240718	個人住宅建設	63.00	未	着工	上野	盛土内
37	柴原遺跡	刀根山2丁目194-2	20240725	個人住宅建設	62.85	無	着工	中村	
38	曾根遺跡	曾根西町2丁目158	20240725	個人住宅建設	86.72	未	慎重工事	中村	基礎浅
39	桜塚古墳群	南桜塚1丁目139-10	20240801	個人住宅建設	52.18	無	着工	上野	
40	本町遺跡	上野西2丁目319-12の一部	20240808	個人住宅建設	45.13	無	着工	中村	
41	穂積遺跡	服部寿町2丁目757-1	20240808	個人住宅建設	163.25	無	着工	中村	
42	小曾根遺跡	北条町1丁目229-7の一部	20240822	個人住宅建設	57.96	無	着工	中村	
43	原田遺跡	原田元町3丁目15-10	20240822	個人住宅建設	48.02	無	着工	中村	
44	熊野田遺跡	熊野町3丁目11-2、15-2	20240829	個人住宅建設	81.57	無	着工	中村	

番号	遺跡名	所在地	調査日	調査原因	調査対象面積 (㎡)	遺跡等の有無	調査後の処置	担当者	備考
45	桜井谷窯跡群	上野西 3 丁目 111-13、49	20240829	個人住宅建設	82.08	無	着工	中村	
46	桜井谷窯跡群	熊野町 4 丁目 68-9	20240905	個人住宅建設	48.40	無	着工	中村	
47	穂積遺跡	服部西町 2 丁目 824-18	20240912	個人住宅建設	35.92	有	再立会後、慎重工事	中村	基礎浅
48	新免遺跡	玉井町 1 丁目 188 の一部	20240919	個人住宅建設	76.28	無	着工	中村	
49	山ノ上遺跡	立花町 3 丁目 85-7、8	20240919	個人住宅建設	52.65	無	着工	中村	
50	太鼓塚古墳群	永楽荘 2 丁目 275-2	20240919	個人住宅建設	53.46	未	着工	中村	基礎浅
51	熊野田遺跡	熊野町 4 丁目 12-10	20241003	個人住宅建設	71.28	未	着工	小堀	盛土内
52	山ノ上遺跡	山ノ上町 9-9 の一部	20241003	個人住宅建設	49.72	無	着工	中村	
53	庄内遺跡	庄内西町 4 丁目 38-55	20241010	個人住宅建設	57.55	無	着工	中村	
54	穂積遺跡	服部南町 3 丁目 46-20、24	20241010	個人住宅建設	52.48	有	慎重工事	小堀	遺構無
55	本町遺跡	本町 3 丁目 85-3	20241010	個人住宅建設	36.43	有	再立会後、慎重工事	小堀	盛土内
56	本町遺跡	本町 3 丁目 119	20241017	分譲住宅建設	48.86	有	慎重工事	小堀	盛土内
57	新免遺跡	未広町 2 丁目 22-12	20241024	個人住宅建設	65.83	無	着工	小堀	
58	庄本遺跡	庄本町 3 丁目 124 の一部	20241031	個人住宅建設	79.79	未	慎重工事	中村	基礎浅
59	桜井谷窯跡群・太鼓塚古墳群	永楽荘 3 丁目 47-13	20241031	個人住宅建設	55.67	無	着工	中村	
60	原田遺跡	原田元町 2 丁目 122	20241107	個人住宅建設	65.00	有	再立会後、慎重工事	小堀	盛土内
61	桜塚古墳群	中桜塚 1 丁目 112-8	20241114	個人住宅建設	40.09	無	着工	上野	
62	穂積遺跡	服部南町 3 丁目 46-19	20241121	個人住宅建設	29.81	無	着工	小堀	
63	桜塚古墳群	南桜塚 2 丁目 3-2	20241121	個人住宅建設	52.92	無	着工	上野	
64	桜井谷窯跡群	上野西 2 丁目 138-68	20241128	個人住宅建設	58.85	無	着工	小堀	
65	新免宮山古墳群	本町 8 丁目 14-1	20241128	個人住宅建設	64.23	無	着工	小堀	
66	上津島遺跡	上津島 2 丁目 107-1 の一部	20241128	個人住宅建設	55.97	有	再立会後、慎重工事	小堀	盛土内
67	新免遺跡	玉井町 2 丁目 79-2 の一部	20241205	個人住宅建設	57.15	無	着工	中村	
68	北条遺跡	北条町 3 丁目 137-5 他	20241205	個人住宅建設	62.94	無	着工	中村	
69	桜井谷窯跡群	熊野町 4 丁目 37-9	20241205	個人住宅建設	32.68	無	着工	中村	
70	豊島北遺跡	曾根南町 1 丁目 100-6	20241212	個人住宅建設	41.40	無	着工	中村	
71	桜井谷窯跡群	東豊中町 2 丁目 32 の一部	20241212	個人住宅建設・宅地造成	136.26	無	着工	小堀	
72	穂積遺跡	服部南町 3 丁目 46-11、21、22	20241212	個人住宅建設	29.06	無	着工	小堀	
73	新免遺跡	玉井町 2 丁目 214	20241226	個人住宅建設	133.61	有	協議後、本調査	小堀・上野	新免 77 次
74	新免宮山古墳群	本町 8 丁目 14-2	20241226	個人住宅建設	63.93	無	着工	小堀	



第 16 図 確認調査地点位置図

2024 - 01 本町遺跡

調査日：令和6年(2024年)1月18日

調査場所：豊中市本町4丁目88-2

調査対象面積：68.24㎡

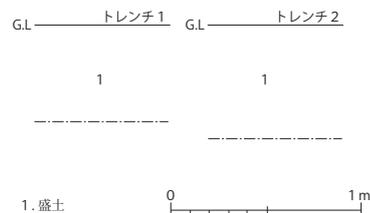
調査の方法：重機によりトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：掘削深度(地表下70cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、慎重工事を指示。



第17図 トレンチ掘削状況



第18図 トレンチ断面図

2024 - 02 山ノ上遺跡

調査日：令和6年(2024年)1月25日

調査場所：豊中市立花町2丁目113-2の一部
113-4, -7, -8, -9

調査対象面積：69.35㎡

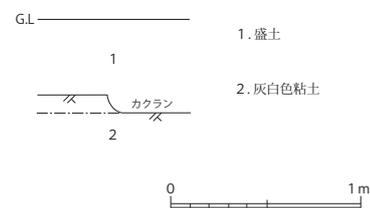
調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下40cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認できなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第19図 トレンチ掘削状況



第20図 トレンチ断面図

2024 - 03 新免遺跡

調査日：令和6年(2024年)1月25日

調査場所：豊中市玉井町2丁目79-1の一部

調査対象面積：70.47㎡

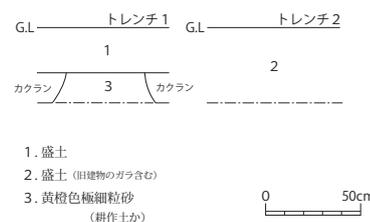
調査の方法：重機によりトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：掘削深度(地表下40cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第21図 トレンチ掘削状況



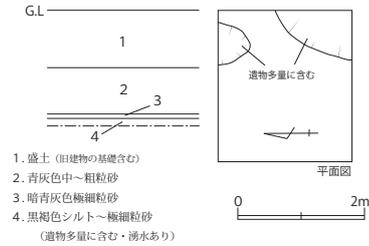
第22図 トレンチ断面図

2024 - 04 穂積遺跡

調査日：令和6年(2024年)1月25日
 調査場所：豊中市服部寿町1丁目702-11の一部
 調査対象面積：48.84㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下170cmにおいて、遺構並びに遺物を検出した。
 調査後の処置：基礎掘削は遺構検出面まで到らないことから、再立会后、慎重工事を指示。



第23図 トレンチ掘削状況

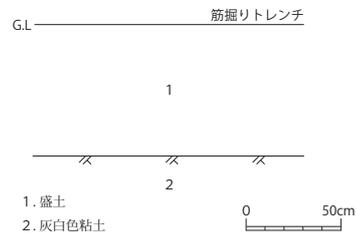


2024 - 05 新免遺跡

調査日：令和6年(2024年)2月1日
 調査場所：豊中市末広町1丁目109-5
 調査対象面積：65.41㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下70cm内において基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第25図 トレンチ掘削状況



2024 - 06 新免遺跡

調査日：令和6年(2024年)2月1日
 調査場所：豊中市末広町1丁目109-4
 調査対象面積：56.31㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下60cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第27図 トレンチ掘削状況



2024 - 07 桜塚古墳群

調査日：令和6年(2024年)2月22日

調査場所：豊中市曽根東町1丁目79-2の一部

調査対象面積：52.90㎡

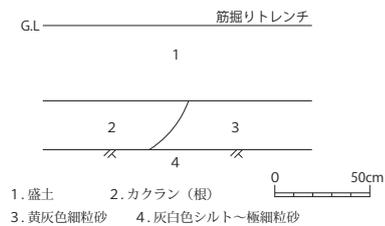
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下65cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第29図 トレンチ掘削状況



第30図 トレンチ断面図

2024 - 08 桜塚古墳群

調査日：令和6年(2024年)2月22日

調査場所：豊中市曽根東町1丁目79-1の一部

調査対象面積：50.21㎡

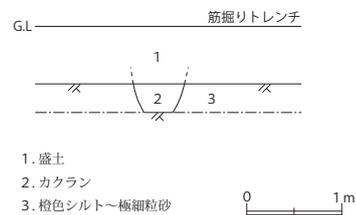
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下60cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第31図 トレンチ掘削状況



第32図 トレンチ断面図

2024 - 09 内田遺跡・桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)2月29日

調査場所：豊中市桜の町3丁目26-11

調査対象面積：46.78㎡

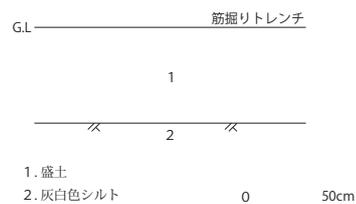
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下50cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第33図 トレンチ掘削状況



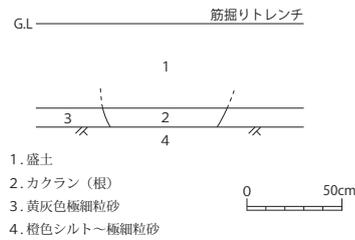
第34図 トレンチ断面図

2024 - 10 北刀根山遺跡

調査日：令和6年(2024年)2月29日
 調査場所：豊中市刀根山元町118-1の一部
 調査対象面積：47.20㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下55cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第35図 トレンチ掘削状況



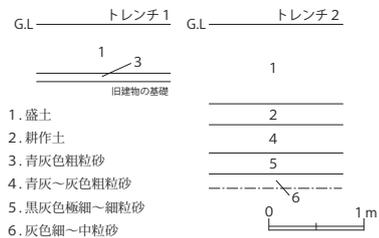
第36図 トレンチ断面図

2024 - 11 穂積遺跡

調査日：令和6年(2024年)3月7日
 調査場所：豊中市服部南町4丁目31-6、32-10
 調査対象面積：67.11㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下175cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第37図 トレンチ掘削状況



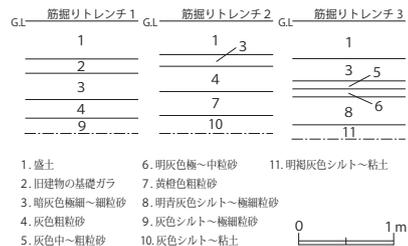
第38図 トレンチ断面図

2024 - 12 熊野田遺跡

調査日：令和6年(2024年)3月14日
 調査場所：豊中市熊野町3丁目179-3、-4
 調査対象面積：182.18㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ3か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下160cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第39図 トレンチ掘削状況



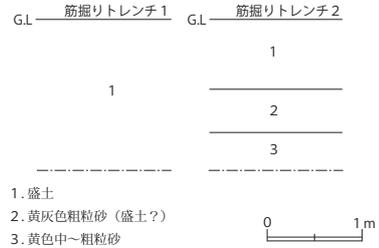
第40図 トレンチ断面図

2024 - 13 桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)3月14日
調査場所：豊中市東豊中町3丁目195-1の一部
調査対象面積：91.17㎡
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
調査の概要：掘削深度(地表下160cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第41図 トレンチ掘削状況



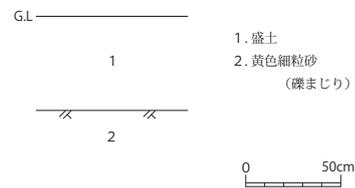
第42図 トレンチ断面図

2024 - 14 柴原遺跡

調査日：令和6年(2024年)3月21日
調査場所：豊中市刀根山2丁目213-1
調査対象面積：74.53㎡
調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
調査の概要：地表下50cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第43図 トレンチ掘削状況



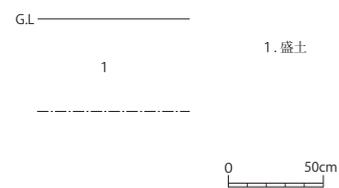
第44図 トレンチ断面図

2024 - 15 庄内遺跡

調査日：令和6年(2024年)3月21日
調査場所：豊中市庄内西町4丁目36-9
調査対象面積：84.07㎡
調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
調査の概要：掘削深度(地表下50cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
調査後の処置：確認調査後、慎重工事を指示。



第45図 トレンチ掘削状況



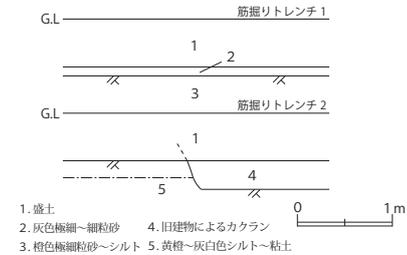
第46図 トレンチ断面図

2024 - 16 桜塚古墳群

調査日：令和6年(2024年)3月28日
 調査場所：豊中市南桜塚2丁目43
 調査対象面積：100.62㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下50cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第47図 トレンチ掘削状況



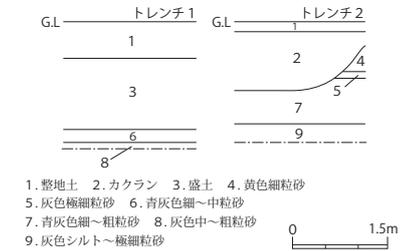
第48図 トレンチ断面図

2024 - 17 穂積遺跡

調査日：令和6年(2024年)4月4日
 調査場所：豊中市服部豊町1丁目74-3
 調査対象面積：91.61㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下200cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第49図 トレンチ掘削状況



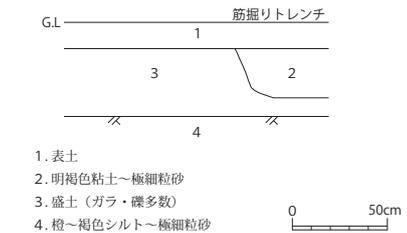
第50図 トレンチ断面図

2024 - 18 太鼓塚古墳群

調査日：令和6年(2024年)4月11日
 調査場所：豊中市永楽荘3丁目85-10
 調査対象面積：71.82㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下50cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第51図 トレンチ掘削状況



第52図 トレンチ断面図

2024 - 19 山ノ上遺跡

調査日：令和6年(2024年)4月18日

調査場所：豊中市宝山町47-2、48-4の一部

調査対象面積：56.54㎡

調査の方法：重機によりトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：掘削深度(地表下155cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第53図 トレンチ掘削状況



第54図 トレンチ断面図

2024 - 20 岡町南遺跡

調査日：令和6年(2024年)4月25日

調査場所：豊中市岡町南2丁目18-7の一部

調査対象面積：67.07㎡

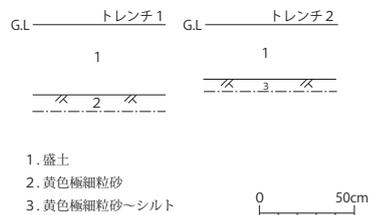
調査の方法：重機によりトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：トレンチ1・2で地表下36・28cmにおいて基盤層を検出したが、いずれも遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第55図 トレンチ掘削状況



第56図 トレンチ断面図

2024 - 21 桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)4月25日

調査場所：豊中市熊野町4丁目68-11

調査対象面積：45.16㎡

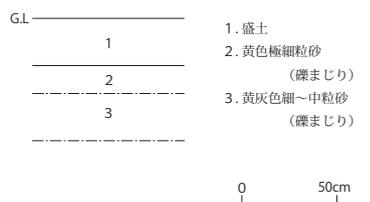
調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：掘削深度(地表下65cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第57図 トレンチ掘削状況



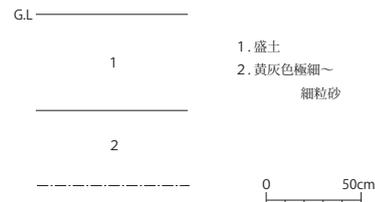
第58図 トレンチ断面図

2024 - 22 上津島遺跡

調査日：令和6年(2024年)5月2日
 調査場所：豊中市上津島2丁目130-24
 調査対象面積：35.40㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下90cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第59図 トレンチ掘削状況



第60図 トレンチ断面図

2024 - 23 小曾根遺跡・今西氏屋敷

調査日：令和6年(2024年)5月2日
 調査場所：豊中市浜1丁目435-10
 調査対象面積：32.40㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下205cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査、着工を指示。



第61図 トレンチ掘削状況



第62図 トレンチ断面図

2024 - 24 穂積遺跡

調査日：令和6年(2024年)5月9日
 調査場所：豊中市服部西町2丁目762-3の一部
 調査対象面積：45.58㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下205cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第63図 トレンチ掘削状況



第64図 トレンチ断面図

2024 - 25 小曾根遺跡

調査日：令和6年(2024年)5月9日
 調査場所：豊中市浜1丁目287-10
 調査対象面積：40.12㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下220cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第65図 トレンチ掘削状況



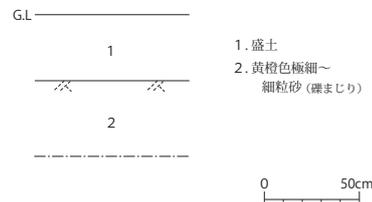
第66図 トレンチ断面図

2024 - 26 山ノ上遺跡

調査日：令和6年(2024年)5月9日
 調査場所：豊中市宝山町119-3の一部
 調査対象面積：57.13㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下75cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第67図 トレンチ掘削状況



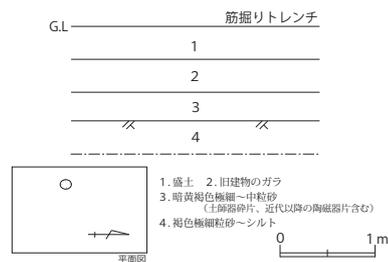
第68図 トレンチ断面図

2024 - 27 少路遺跡・桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)5月16日
 調査場所：豊中市桜の町5丁目72-23
 調査対象面積：37.26㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下100cmにおいて、ピットの残欠を検出し、遺構面上層で土師器片及び近代以降の陶磁器片が混在して出土した。
 調査後の処置：遺構密度は極めて希薄であり、遺構面は近代以降に削平を受けていることから、確認調査後、慎重工事を指示。



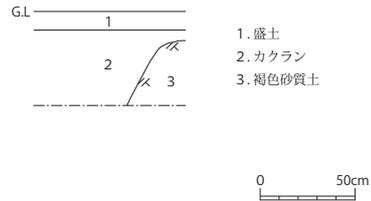
第69図 トレンチ掘削状況



第70図 トレンチ平面・断面図

2024 - 28 桜塚古墳群

調査日：令和6年(2024年)5月30日
 調査場所：豊中市南桜塚1丁目242-1
 調査対象面積：53.61㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下15～50cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第71図 トレンチ断面図

2024 - 29 本町遺跡

調査日：令和6年(2024年)6月13日
 調査場所：豊中市本町4丁目149-4の一部
 調査対象面積：40.57㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下55cmにおいて、遺構及び微量の遺物を検出した。
 調査後の処置：基礎掘削は盛土内に収まることから、再立会后、慎重工事を指示。



第72図 トレンチ掘削状況



第73図 トレンチ平面・断面図

2024 - 30 桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)6月13日
 調査場所：豊中市桜の町6丁目176-5
 調査対象面積：50.51㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下90cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第74図 トレンチ掘削状況



第75図 トレンチ断面図

2024 - 31 少路遺跡・桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)6月20日

調査場所：豊中市桜の町5丁目7-3

調査対象面積：73.11㎡

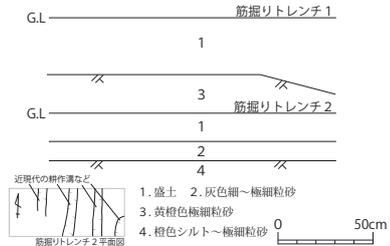
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：トレンチ2において、近現代とみられる耕作にともなう溝などを検出した。

調査後の処置：基礎掘削は盛土内におさまることから、確認調査後、慎重工事を指示。



第76図 トレンチ掘削状況



第77図 トレンチ平面・断面図

2024 - 32 原田遺跡

調査日：令和6年(2024年)6月20日

調査場所：豊中市原田元町3丁目15-3

調査対象面積：32.68㎡

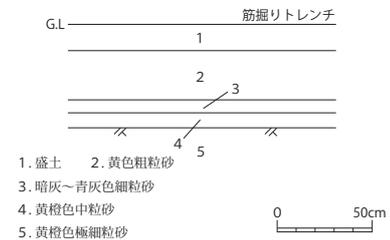
調査の方法：重機によりト筋掘りレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表面下55cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第78図 トレンチ掘削状況



第79図 トレンチ断面図

2024 - 33 桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)6月20日

調査場所：豊中市桜の町6丁目176-6

調査対象面積：44.18㎡

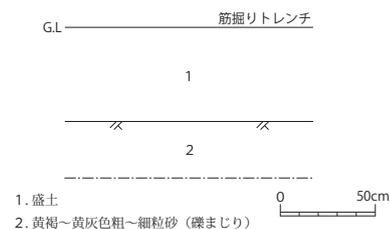
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：掘削深度(地表面下80cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第80図 トレンチ掘削状況



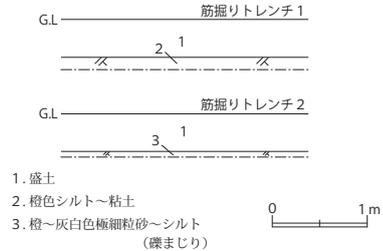
第81図 トレンチ断面図

2024 - 34 太鼓塚古墳群・桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)7月11日
 調査場所：豊中市永楽荘2丁目151-1
 調査対象面積：105.17㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下40cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第82図 トレンチ掘削状況



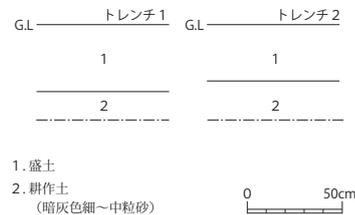
第83図 トレンチ断面図

2024 - 35 原田遺跡

調査日：令和6年(2024年)7月18日
 調査場所：豊中市原田元町3丁目15-8
 調査対象面積：40.50㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下50cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、慎重工事を指示。



第84図 トレンチ掘削状況



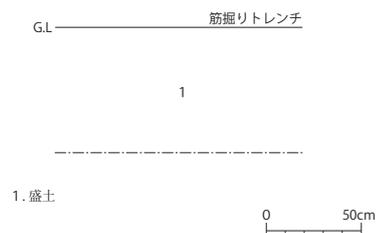
第85図 トレンチ断面図

2024 - 36 岡町遺跡・桜塚古墳群

調査日：令和6年(2024年)7月18日
 調査場所：豊中市中桜塚2丁目287-8
 調査対象面積：63.00㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下67cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第86図 トレンチ掘削状況



第87図 トレンチ断面図

2024 - 37 柴原遺跡

調査日：令和6年(2024年)7月25日

調査場所：豊中市刀根山2丁目194-2

調査対象面積：62.85㎡

調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：掘削深度(地表下205cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第88図 トレンチ掘削状況



第89図 トレンチ断面図

2024 - 38 曾根遺跡

調査日：令和6年(2024年)7月25日

調査場所：豊中市曾根西町2丁目158

調査対象面積：86.72㎡

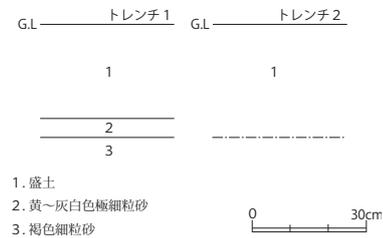
調査の方法：重機によりトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：掘削深度(地表下30cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：基礎掘削は盛土内におさまることから、確認調査後、慎重工事を指示。



第90図 トレンチ掘削状況



第91図 トレンチ断面図

2024 - 39 桜塚古墳群

調査日：令和6年(2024年)8月1日

調査場所：豊中市南桜塚1丁目139-10

調査対象面積：52.18㎡

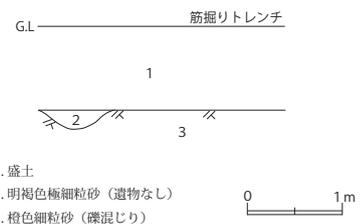
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下90cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第92図 トレンチ掘削状況



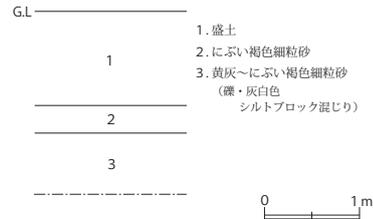
第93図 トレンチ断面図

2024 - 40 本町遺跡

調査日：令和6年(2024年)8月8日
 調査場所：豊中市上野西2丁目319-12の一部
 調査対象面積：45.13㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下195cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第94図 トレンチ掘削状況



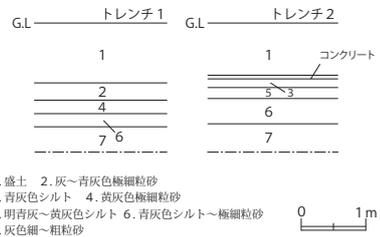
第95図 トレンチ断面図

2024 - 41 穂積遺跡

調査日：令和6年(2024年)8月8日
 調査場所：豊中市服部寿町2丁目757-1
 調査対象面積：163.25㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下210cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第96図 トレンチ掘削状況



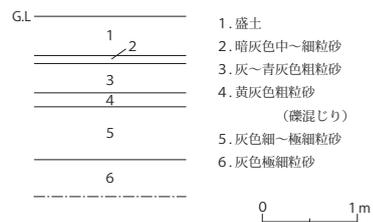
第97図 トレンチ断面図

2024 - 42 小曾根遺跡

調査日：令和6年(2024年)8月22日
 調査場所：豊中市北条町1丁目299-7の一部
 調査対象面積：57.96㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下190cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第98図 トレンチ掘削状況



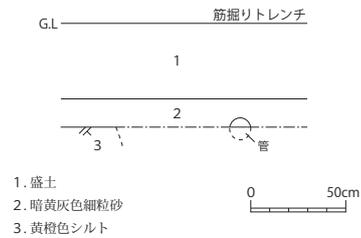
第99図 トレンチ断面図

2024 - 43 原田遺跡

調査日：令和6年(2024年)8月22日
調査場所：豊中市原田元町3丁目15-10
調査対象面積：48.02㎡
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
調査の概要：地表下55cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第100図 トレンチ掘削状況



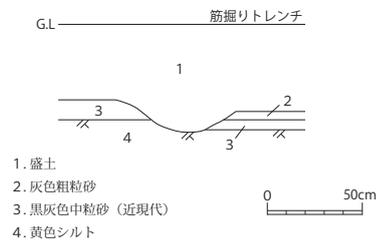
第101図 トレンチ断面図

2024 - 44 熊野田遺跡

調査日：令和6年(2024年)8月29日
調査場所：豊中市熊野町3丁目11-2、15-2
調査対象面積：81.57㎡
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
調査の概要：地表下50cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第102図 トレンチ掘削状況



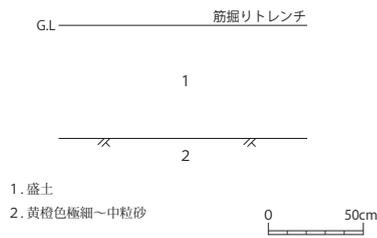
第103図 トレンチ断面図

2024 - 45 桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)8月29日
調査場所：豊中市上野西3丁目111-13、-49
調査対象面積：82.08㎡
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
調査の概要：地表下60cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第104図 トレンチ掘削状況



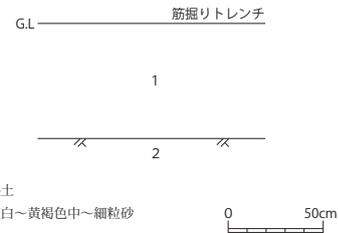
第105図 トレンチ断面図

2024 - 46 桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)9月5日
 調査場所：豊中市熊野町4丁目68-9
 調査対象面積：48.40㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下60cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



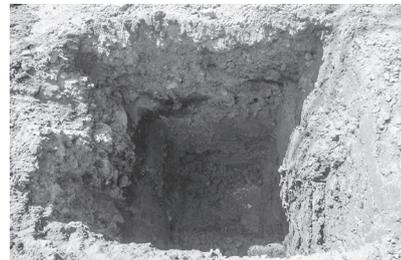
第106図 トレンチ掘削状況



第107図 トレンチ断面図

2024 - 47 穂積遺跡

調査日：令和6年(2024年)9月12日
 調査場所：豊中市服部西町2丁目824-18
 調査対象面積：35.92㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下140cmにおいて遺構を検出し、土師器碎片を確認した。
 調査後の処置：基礎掘削は遺構面に達しないことから、再立会后、慎重工事を指示。



第108図 トレンチ掘削状況



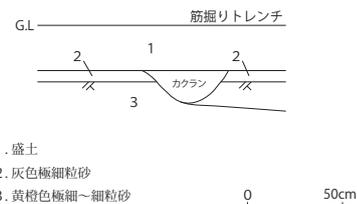
第109図 トレンチ断面図

2024 - 48 新免遺跡

調査日：令和6年(2024年)9月19日
 調査場所：豊中市玉井町1丁目188の一部
 調査対象面積：76.28㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下30cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第110図 トレンチ掘削状況



第111図 トレンチ断面図

2024 - 49 山ノ上遺跡

調査日：令和6年(2024年)9月19日

調査場所：豊中市立花町3丁目85-7, -8

調査対象面積：52.65㎡

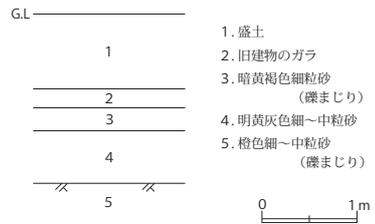
調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下180cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第112図 トレンチ掘削状況



第113図 トレンチ断面図

2024 - 50 太鼓塚古墳群

調査日：令和6年(2024年)9月19日

調査場所：豊中市永楽荘2丁目275-2

調査対象面積：53.46㎡

調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：掘削深度(地表下35cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：基礎掘削は盛土内におさまることから、確認調査後、着工を指示。



第114図 トレンチ掘削状況



第115図 トレンチ断面図

2024 - 51 熊野田遺跡

調査日：令和6年(2024年)10月3日

調査場所：豊中市熊野町4丁目12-10

調査対象面積：71.28㎡

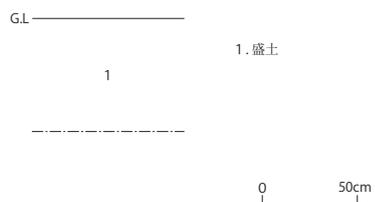
調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：掘削深度(地表下60cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：基礎掘削は盛土内におさまることから、確認調査後、着工を指示。



第116図 トレンチ掘削状況



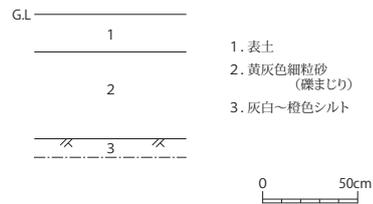
第117図 トレンチ断面図

2024 - 52 山ノ上遺跡

調査日：令和6年(2024年)10月3日
 調査場所：豊中市山ノ上町9-9の一部
 調査対象面積：49.72㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下65cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第118図 トレンチ掘削状況



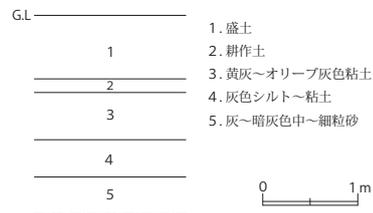
第119図 トレンチ断面図

2024 - 53 庄内遺跡

調査日：令和6年(2024年)10月10日
 調査場所：豊中市庄内西町4丁目38-55
 調査対象面積：57.55㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下210cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第120図 トレンチ掘削状況



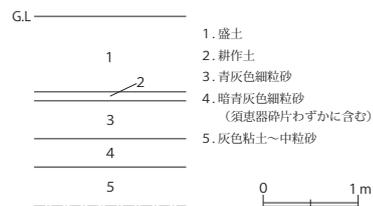
第121図 トレンチ断面図

2024 - 54 穂積遺跡

調査日：令和6年(2024年)10月10日
 調査場所：豊中市服部南町3丁目46-20, -24
 調査対象面積：52.48㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下130cmにおいて須恵器碎片をわずかに確認したが、明確な遺構は確認されなかった。
 調査後の処置：遺物は河川堆積による流入の可能性が高いため、確認調査後、慎重工事を指示。



第122図 トレンチ掘削状況



第123図 トレンチ断面図

2024 - 55 本町遺跡

調査日：令和6年(2024年)10月10日

調査場所：豊中市本町3丁目85-3

調査対象面積：36.43㎡

調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下80cmにおいて、遺構埋土と考えられる黒褐色土層を検出した。

調査後の処置：基礎掘削は盛土内におさまることから、再立会后、慎重工事を指示。



第124図 トレンチ掘削状況



第125図 トレンチ断面図

2024 - 56 本町遺跡

調査日：令和6年(2024年)10月17日

調査場所：豊中市本町3丁目119

調査対象面積：48.86㎡

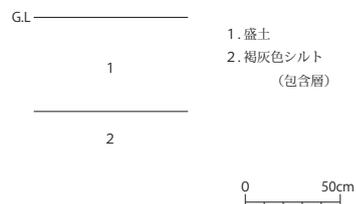
調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下50cmにおいて包含層を検出したが、明確な遺構等は確認されなかった。

調査後の処置：基礎掘削は盛土内におさまることから、確認調査後、慎重工事を指示。



第126図 トレンチ掘削状況



第127図 トレンチ断面図

2024 - 57 新免遺跡

調査日：令和6年(2024年)10月24日

調査場所：豊中市末広町2丁目22-12

調査対象面積：65.83㎡

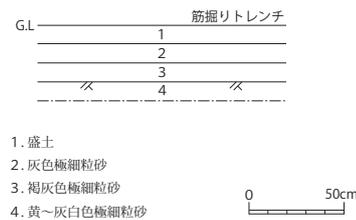
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下30cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第128図 トレンチ掘削状況



第129図 トレンチ断面図

2024 - 58 庄本遺跡

調査日：令和6年(2024年)10月31日
 調査場所：豊中市庄本町3丁目124の一部
 調査対象面積：79.79㎡

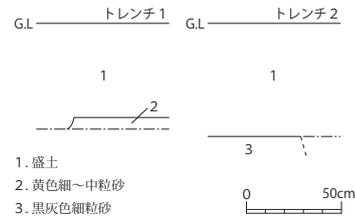
調査の方法：重機によりトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：掘削深度(地表下60cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：基礎掘削は盛土内におさまることから、確認調査後、慎重工事を指示。



第130図 トレンチ掘削状況



第131図 トレンチ断面図

2024 - 59 桜井谷窯跡群・太鼓塚古墳群

調査日：令和6年(2024年)10月31日
 調査場所：豊中市永楽荘3丁目47-13
 調査対象面積：55.67㎡

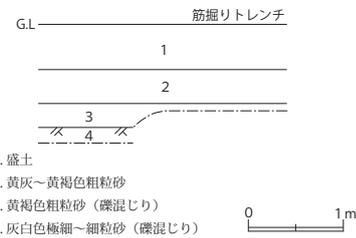
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下110cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第132図 トレンチ掘削状況



第133図 トレンチ断面図

2024 - 60 原田遺跡

調査日：令和6年(2024年)11月7日
 調査場所：豊中市原田元町2丁目122
 調査対象面積：65.00㎡

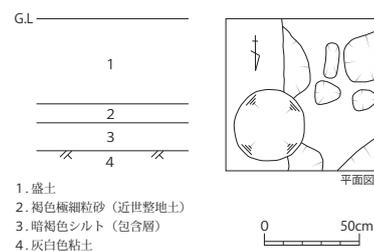
調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下55cmにおいて遺物包含層を、地表下70cmにおいて基盤層上に多数の遺構を検出し、弥生土器の碎片を確認した。

調査後の処置：基礎掘削は盛土内におさまることから、再立会后、慎重工事を指示。



第134図 トレンチ掘削状況



第135図 トレンチ平面・断面図

2024 - 61 桜塚古墳群

調査日：令和6年(2024年)11月14日

調査場所：豊中市中桜塚1丁目112-8

調査対象面積：40.09㎡

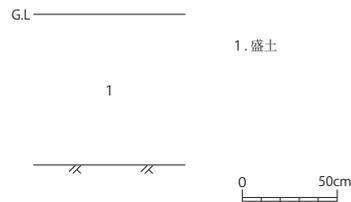
調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下80cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第136図 トレンチ掘削状況



第137図 トレンチ断面図

2024 - 62 穂積遺跡

調査日：令和6年(2024年)11月21日

調査場所：豊中市服部南町3丁目46-19

調査対象面積：29.81㎡

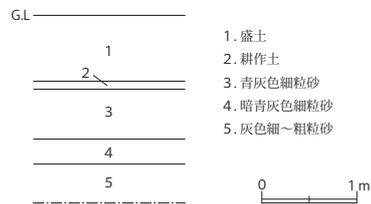
調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：掘削深度(地表下200cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第138図 トレンチ掘削状況



第139図 トレンチ断面図

2024 - 63 桜塚古墳群

調査日：令和6年(2024年)11月21日

調査場所：豊中市南桜塚2丁目3-2

調査対象面積：52.92㎡

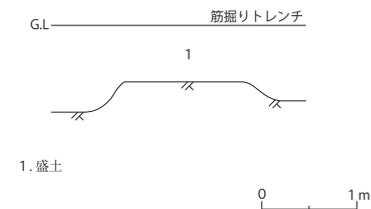
調査の方法：重機によりトレンチ筋掘り1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下60cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第140図 トレンチ掘削状況



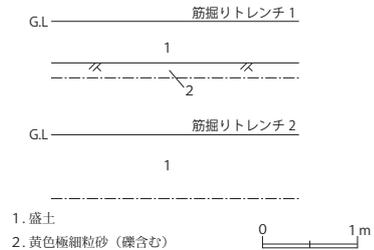
第141図 トレンチ断面図

2024 - 64 桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)11月28日
 調査場所：豊中市上野西2丁目138-68
 調査対象面積：58.85㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ2か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：トレンチ1で地表下45cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：トレンチ2では基礎掘削は盛土内におさまることから、確認調査後、着工を指示。



第142図 トレンチ掘削状況



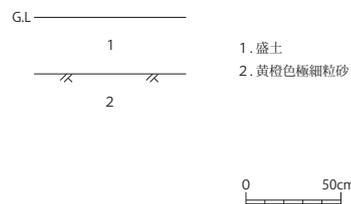
第143図 トレンチ断面図

2024 - 65 新免宮山古墳群

調査日：令和6年(2024年)11月28日
 調査場所：豊中市本町8丁目14-1
 調査対象面積：64.23㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下30cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第144図 トレンチ掘削状況



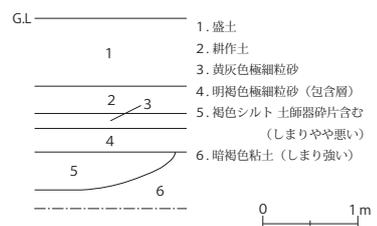
第145図 トレンチ断面図

2024 - 66 上津島遺跡

調査日：令和6年(2024年)11月28日
 調査場所：豊中市上津島2丁目107-1の一部
 調査対象面積：55.97㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下140cmにおいて、土坑または溝の埋土を検出した。
 調査後の処置：基礎掘削は盛土内におさまることから、再立会后、慎重工事を指示。



第146図 トレンチ掘削状況



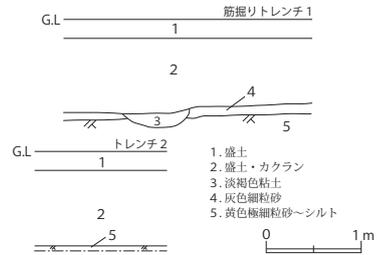
第147図 トレンチ断面図

2024 - 67 新免遺跡

調査日：令和6年(2024年)12月5日
 調査場所：豊中市玉井町2丁目79-2の一部
 調査対象面積：57.15㎡
 調査の方法：重機により坪掘り・筋掘りトレンチ各1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：地表下100cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第148図 トレンチ掘削状況



第149図 トレンチ断面図

2024 - 68 北条遺跡

調査日：令和6年(2024年)12月5日
 調査場所：豊中市北条町3丁目136-5, -7, -16, 137-5
 調査対象面積：62.94㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下210cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第150図 トレンチ掘削状況



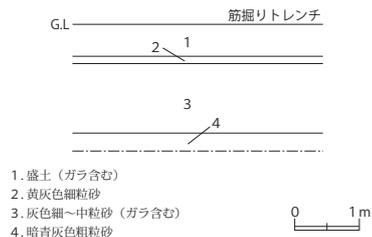
第151図 トレンチ断面図

2024 - 69 桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)12月5日
 調査場所：豊中市熊野町4丁目37-9
 調査対象面積：32.68㎡
 調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下200cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第152図 トレンチ掘削状況



第153図 トレンチ断面図

2024 - 70 豊島北遺跡

調査日：令和6年(2024年)12月12日
 調査場所：豊中市曽根南町1丁目100-6
 調査対象面積：41.40㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下190cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第154図 トレンチ掘削状況



第155図 トレンチ断面図

2024 - 71 桜井谷窯跡群

調査日：令和6年(2024年)12月12日
 調査場所：豊中市東豊中町2丁目32の一部
 調査対象面積：136.26㎡
 調査の方法：到着時、事前着工が行われていたため、重機によりトレンチ1か所を掘削し、断面観察及びトレンチ内を精査した。
 調査の概要：壁面及びトレンチ1か所において大阪層群を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第156図 壁面掘削状況



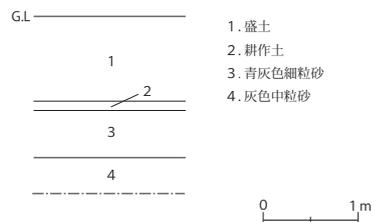
第157図 トレンチ断面図

2024 - 72 穂積遺跡

調査日：令和6年(2024年)12月12日
 調査場所：豊中市服部南町3丁目46-11, -21, -22
 調査対象面積：29.06㎡
 調査の方法：重機によりトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。
 調査の概要：掘削深度(地表下190cm)内において、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。
 調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第158図 トレンチ掘削状況



第159図 トレンチ断面図

2024 - 73 新免遺跡

調査日：令和6年(2024年)12月26日

調査場所：豊中市玉井町2丁目214

調査対象面積：133.61㎡

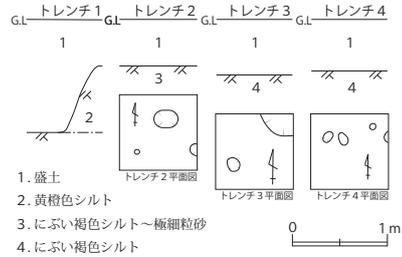
調査の方法：重機によりトレンチ4か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：各トレンチで地表下50～60cmにおいて、遺構及び遺構面と考えられる基盤層面を検出した。

調査後の処置：協議後、本発掘調査を行う。
(新免遺跡第77次調査)



第160図 トレンチ掘削状況



第161図 トレンチ平面・断面図

2024 - 74 新免宮山古墳群

調査日：令和6年(2024年)12月26日

調査場所：豊中市本町8丁目14-2

調査対象面積：63.93㎡

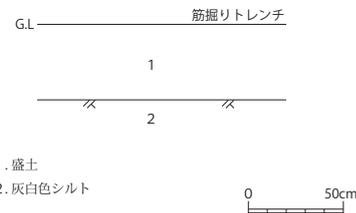
調査の方法：重機により筋掘りトレンチ1か所を掘削し、トレンチ内を精査した。

調査の概要：地表下40cmにおいて基盤層を検出したが、明確な遺構・遺物等は確認されなかった。

調査後の処置：確認調査後、着工を指示。



第162図 トレンチ掘削状況



第163図 トレンチ断面図

写 真 图 版

図版1 本町遺跡第46次調査



(1) 調査前 (北西から)



(2) 重機掘削 (東から)



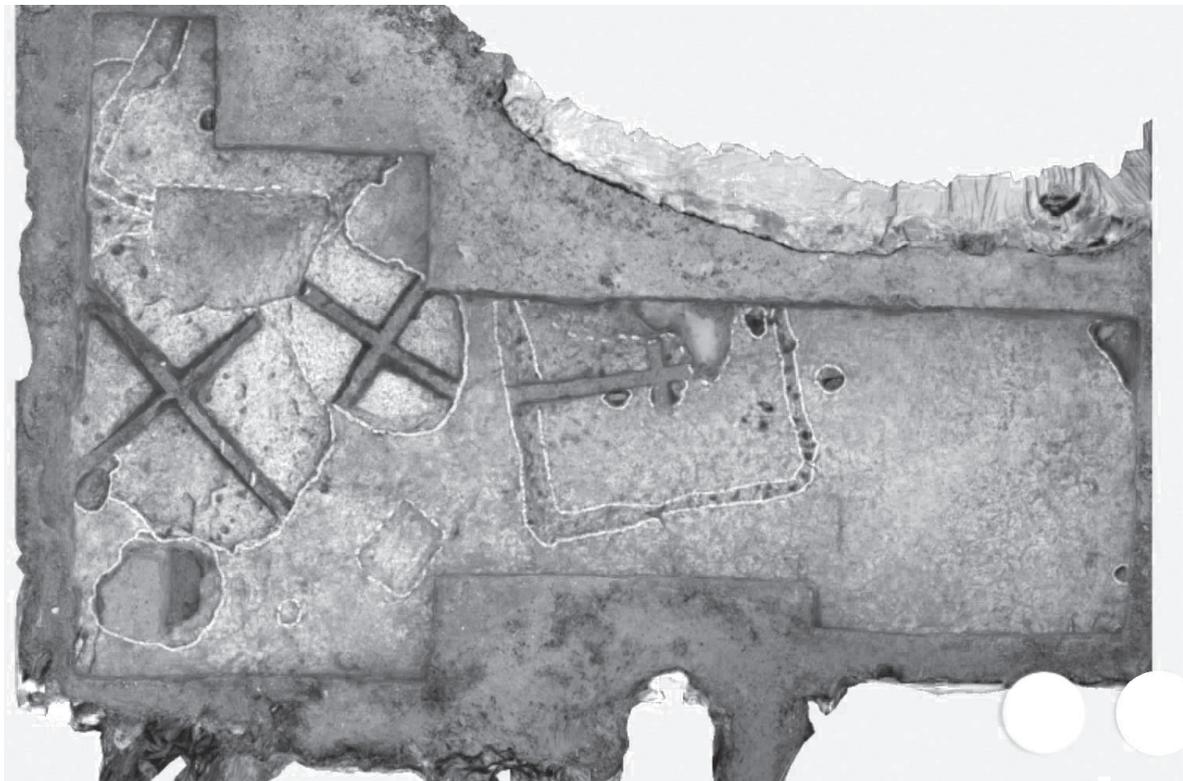
(1) 検出状況 3D スキャン (上から)



(2) 西半部 検出状況 (北から)



(1) 東半部 検出状況 (北から)



(2) 完掘状況 3D スキャン (上から)



(1) 西半部 完掘状況 (北から)

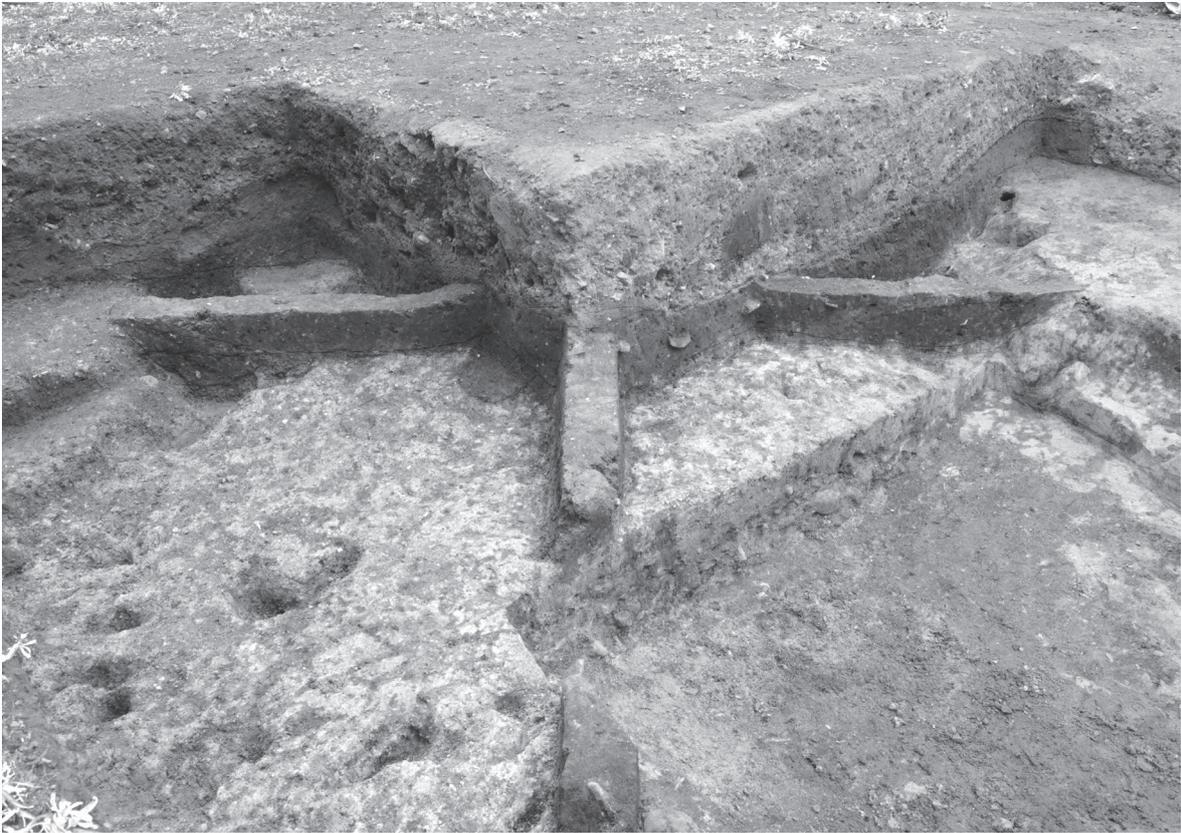


(2) 東半部 検出状況 (北から)

図版5 本町遺跡第46次調査



(1) 竪穴住居1 (北から)



(2) 竪穴住居2 (北東から)



(1) 土坑5 (北から)



(2) 土坑5 遺物出土状況 (西から)



(1) 土坑6 (南西から)



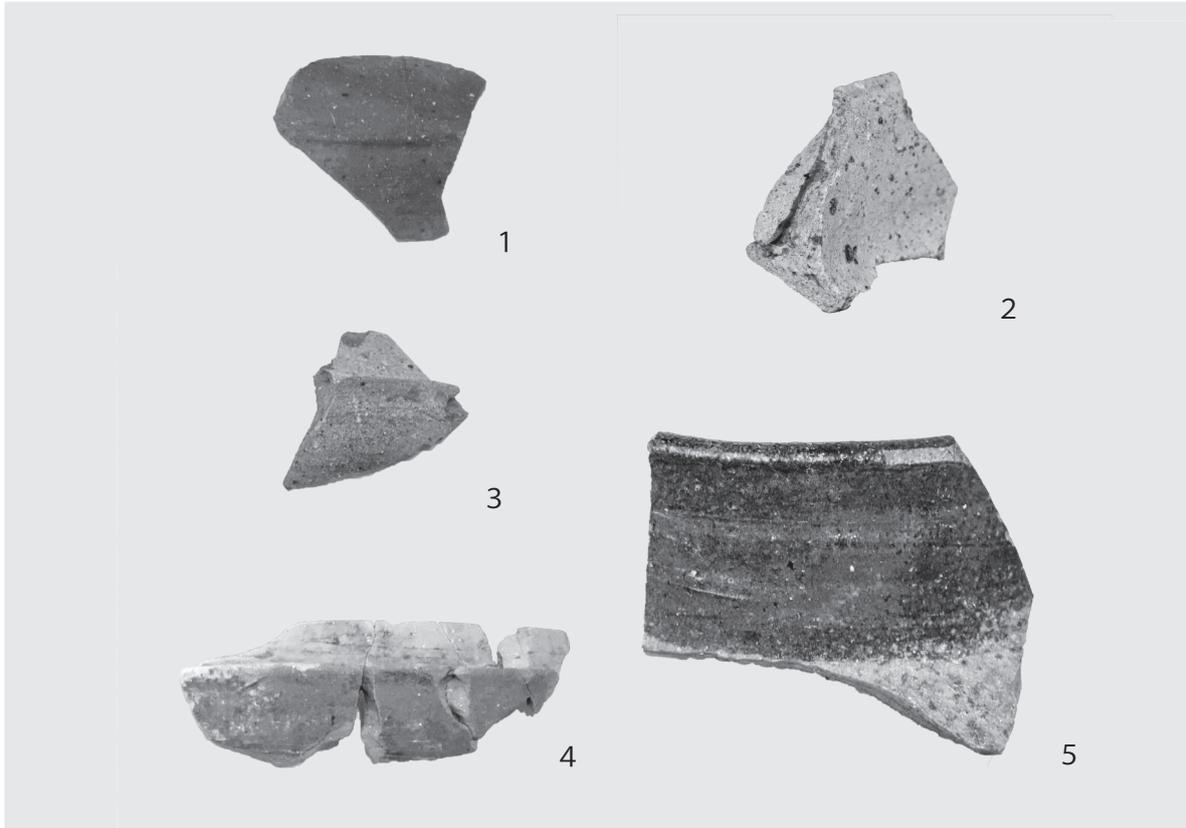
(2) 土坑6 土師器甕出土状況



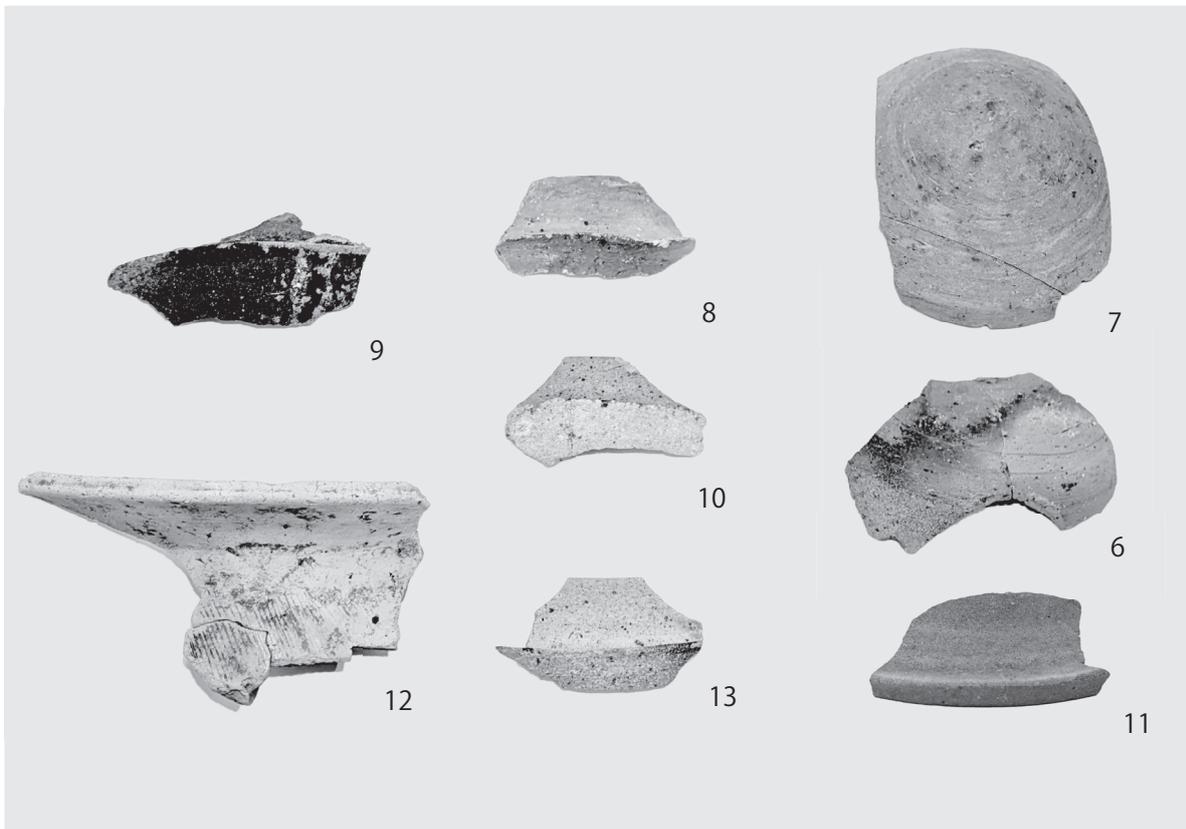
(1) 土坑1 (北東から)



(2) 土坑4 (北から)



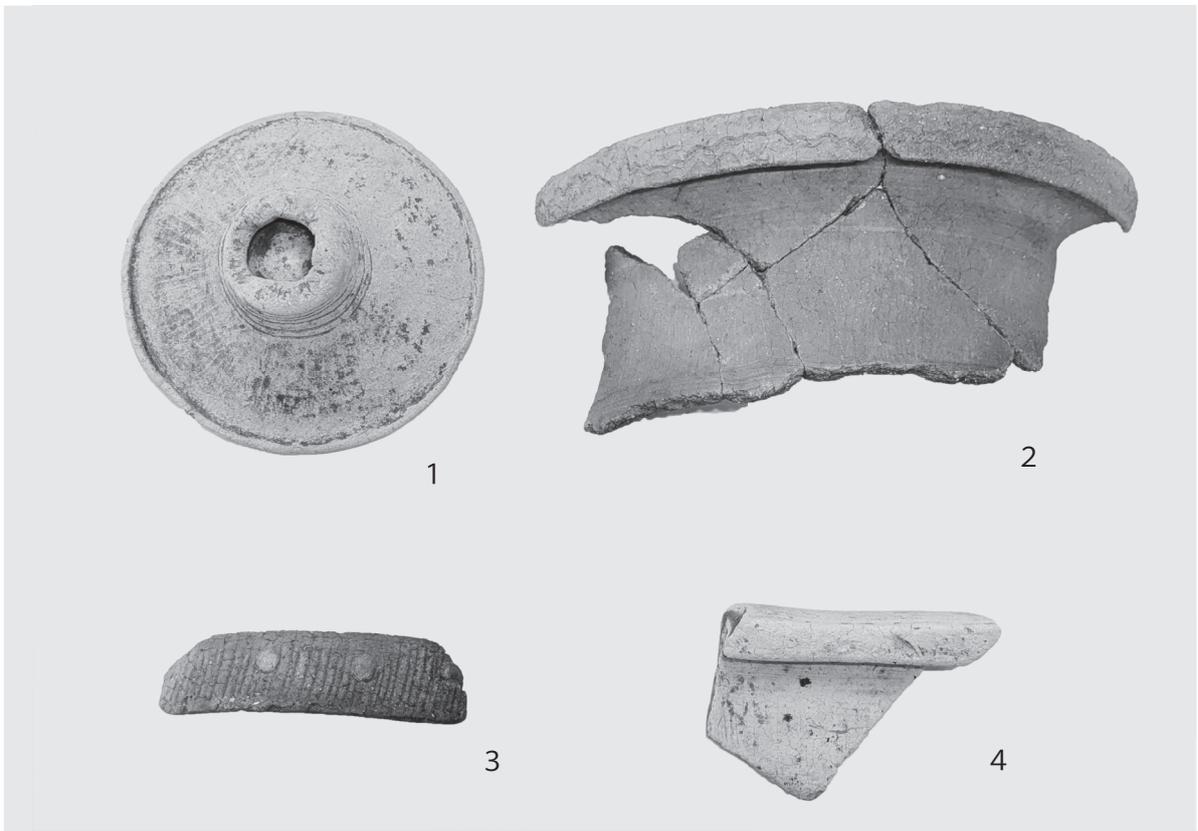
(1) 土坑5 出土遺物 (第12図)



(2) 土坑6・竪穴住居2 出土遺物 (第12図)



(1) 7世紀代 出土遺物 (第 13 図)



(2) 弥生時代 出土遺物 (第 14 図)

報告書抄録

ふりがな	とよなかし まいぞうぶんかざい はくつちょうさ がいよう					
書名	豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 令和6年度(2024年度)					
シリーズ名	豊中市文化財調査報告					
シリーズ番号	第91集					
編著者	小堀僚・浅田尚子					
編集機関	豊中市教育委員会(市町村コード27208)					
所在地	〒561-8501 大阪府豊中市中桜塚3丁目1-1 TEL06-6858-2581					
発行年月日	令和7年(2025年)3月31日					
所収遺跡	所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
<small>ほんまち</small> 本町遺跡 第46次	<small>ほんまち</small> 本町3丁目103-1、104-1	34° 79' 02'	135° 46' 02'	20230509～ 20230616	65.0 m ²	個人住宅建築

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
本町遺跡 第46次	集落跡	弥生・古墳・ 近世	竪穴住居・土坑	須恵器	桜井谷窯跡群と密接な関わりのある集落遺構を検出

豊中市文化財調査報告 第91集
豊中市埋蔵文化財発掘調査概要

令和6年度(2024年度)

発行：豊中市教育委員会

豊中市中桜塚3丁目1-1

令和7年(2025年)3月31日

印刷：株式会社きたがわぷりんと
